

御嵩町図書館
読み聞かせ児童書リスト

2022



読み聞かせ絵本リスト

ここで紹介した本は、どれも中山道みたけ館で借りることができます。
ご希望の方は図書館までお問合せください。

もくじ

どうぶつ

| | |
|----------------|---|
| ねこ | 1 |
| いぬ | 2 |
| その他のどうぶつ | 3 |

せいかつ

| | |
|------------------------|---|
| あいさつ | 4 |
| がっこう・ほいくえん・ようちえん | 4 |
| おしごと・おみせ | 4 |
| いえ・にわ | 5 |
| きょうだい・しまい | 5 |
| のりもの | 5 |
| きもち | 6 |
| ユーモア | 8 |

いろいろなはなし

| | |
|------------------|----|
| シリーズのほん | 11 |
| ちょっとふしぎなほん | 12 |
| まなべるほん | 13 |

ファンタジー

| | |
|---------------------|----|
| おばけ・ようかい | 14 |
| おに | 15 |
| モンスター・かいぶつ | 15 |
| おとうさん・おかあさん | 16 |
| おじいちゃん・おばあちゃん | 17 |
| おつきさま | 18 |
| くま | 19 |
| とら | 19 |
| でんしゃ | 20 |
| バス | 20 |

| | |
|------------|----|
| さくいん | 21 |
|------------|----|

★どうぶつ

| ねこ | |
|--|---|
| <p>『おおきなかべがあったとき』(Eヒ)</p> <p>サトシン/文 広瀬 克也/絵 文芸堂</p> <p>ねこさんのめのまえにあらわれた、おおきくてたかいかべ。さあ、どうする？ねこさんは、はしごをかけてこえた。つぎにまた、おおきなかべがあらわれた。</p> | <p>『くろねこのほんやさん』(Eウ)</p> <p>シンディウーメ/文・絵 福本 友美子/訳 小学館</p> <p>ほんがだいすきなくろねこがいました。あるひ、まちで、ちいさくてかわいいこどものほんやさんを見つけたくろねこは、そこではたらくことにしました。</p> |
| <p>『ばけねこ』(Eア)</p> <p>杉山 亮/作 アン マサコ/絵 ポプラ社</p> <p>かわいがっていたねこがいなくなり、あたりをさがすおんなのこ。ちちおやがとめるのもきかずに、ねこみみやまへさがしにでかけました。</p> | <p>『アレッポのキャットマン』(Eシ)</p> <p>アイリーンレイサム/著 カリーム シャムシ バシヤ/著 清水 裕子/絵 安田 葉津紀/訳 あかね書房</p> <p>せんじょうとなったアレッポにのこったアラーは、みちばたにすてられ、さみしいおもいをしながらおびえているねこたちにきづき…。</p> |
| <p>『たすひくねこ』(Eニ)</p> <p>にわ/さく 大迫 ちあき/監修 マイクロマガジン社</p> <p>たからのちずをひろったねこたち10びきが、ぼうけんのたびにしゅっぱつ！とちゅうで1びきずつへっていき…。たしざん、ひきざんがみにつくえほん。</p> | <p>『ミーコとボクちゃん』(Eカ)</p> <p>さいき せつこ/ぶん 上村 エリ/え 文芸社</p> <p>しょうわ30ねんだいをぶたいにした、ボクちゃんと、ボクちゃんをだいすきなねこのミーコのおはなし。</p> |
| <p>『えんそくねこねこ』(Eナ)</p> <p>長野 ヒデ子/作・絵 ひさかたチャイルド</p> <p>げんきな12ひきのこねこちゃんたち。リュックにおべんとうをいれて、みんなで、たのしいえんそくにしゅっぱつします。</p> | <p>『ねこはるすばん』(Eマ)</p> <p>町田 尚子/作 ほるぶ出版</p> <p>にんげん、でかけていった。のこされたねこはるすばん…とおもいきや、どこへいく？ねこ、たんすのおくから、どこかにとうちやく。そこはねこのまち。</p> |
| <p>『ねがいごと』(Eソ)</p> <p>あさの ますみ/作 そのだ えり/絵 学研プラス</p> <p>ねこのミイは、じぶんにさよならのときが近づいているとっていました。となりではサキちゃんが、なきだしそうなかおでミイをみつめています。</p> | <p>『うちのねこ』(Eタ)</p> <p>高橋 和枝/作 アリス館</p> <p>のらねこだったおとなのねこが、うちにやってきた。けをさかだてていた、もとのらねこが「うちのねこ」になるまでをえがいたえほん。</p> |
| <p>『ヒゲタさん』(Eヤ)</p> <p>山西 ゲンイチ/作・絵 徳間書店</p> <p>あめのよる、りっぱなくちひげをはやしたねこ、ヒゲタさんをいえにとめてあげたチカちゃん。つけひげをつけると、ヒゲタさんといっしょにひげのくにへ…。</p> | <p>『バレエのおけいこ』(Eシ)</p> <p>石津 ちひろ/文 庄野 ナホコ/絵 ブロンズ新社</p> <p>くろねこのミイさんは、まいちゃんといっしょにバレエのおけいこへ。しかし、いくられんしゅうしてもビルエットがうまくまわれません。</p> |
| <p>『こねこのビスケット』(Eア)</p> <p>野中 柊/作 網中 いづる/絵 ポプラ社</p> <p>なつにうまれたこむぎいろをした、こねこのビスケット。「さむいってどんなかんじ？」と、これからおとずれるきせつにおもいをせ…。</p> | <p>『ねこのオーランドーよるのおでかけ』(Eヘ)</p> <p>キャスリーン ヘイル/さく こみや ゆう/やく 好学社</p> <p>こねこたちをつれてサーカスをみにでかけた、ねこのオーランドー。ドラムのおとにおどろいてとびあがったひょうしに、サーカスのぶたいへ。</p> |
| <p>『ねこおどる』(Eヒ)</p> <p>広瀬 克也/作 絵本館</p> <p>めをさましたねこ。ふとたちあがって、はい、ポーズ。すると、いろいろながらのねこがどこからともなくやってきて、いえのなかでおどりました…。</p> | <p>『ゆきのひにあえたら』(Eフ)</p> <p>ワン ユーウェイ/さく 長山 さき/訳 ほるぶ出版</p> <p>えかきのネコさんは、ゆきのふるひに、ふしぎなおんなのことであいました。いっしょにくらしはじめると、いえのなかのしよくぶつにふしぎなことがおこり…。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>『ねこのつけしっぽ』(Eヨ)</p> <p>吉田 愛/作 講談社</p> <p>みじかいしっぽのねこのまちにおきただいじけん！ながいしっぽのねこがいることをしったねこたちは、きゆうにみじかいしっぽがはずかしくなり…。</p> | <p>『このねこ、うちのねこ！』(Eカ)</p> <p>ヴァージニア カール/作・絵 こだまともこ/訳 徳間書店</p> <p>7けんのいえがあるちいさなむらにやってきたしろいねこ。それぞれのいえでなまえをつけてもらい、かわいがってもらっていましたが…？</p> |
| <p>『なまえのないねこ』(Eマ)</p> <p>竹下 文子/文 町田 尚子/絵 小峰書店</p> <p>ぼくは、ねこ。なまえのない、ねこ。まちのねこたちは、みんななまえをもっている。くつやさんのねこは、レオ。ぼくもなまえ、ほしいな。</p> | <p>『はたけのにゃーこ』(Eオ)</p> <p>織茂 恭子/作 童心社</p> <p>にゃーこはのらねこ。はたけのこねこ。いつもひとりであそんでる。にゃーこのにおいは、つちのにおい、きのにおい、くさのにおい、はなのにおい。</p> |
| <p>いぬ</p> | |
| <p>『スパーキーとスパイク』(Eア)</p> <p>バーバラ ロウエル/ぶん ダン アンドレイアセン/え ひさやまたいち/やく 評論社</p> <p>「ピーナッツ」のさくしゃチャールズ・シュルツのこどもじだいと、スヌーピーのモデルになったあいけんのおはなし。</p> | <p>『スリー』(Eキ)</p> <p>スティーヴン マイケル キング // ぶん・え 神野 三鈴 // やく イマジネーション・プラス</p> <p>3ぼんあしのイヌのスリーは、はなをたよりに、あっちへいたり、こっちへいたり。まえむきであかるく、げんきな3ぼんあしのイヌのおはなし。</p> |
| <p>『にんじやいぬタロー』(Eフ)</p> <p>渡辺 陽子/作 講談社</p> <p>あるひ、ケンタのうちにふろしきをせおったあやしいいぬがやってきた。そのいぬ・タローは、とのさまをさがしているという。</p> | <p>『ぼくは犬や』(Eペ)</p> <p>ベクヒナ/作 長谷川 義史/訳 ブロンズ新社</p> <p>ひとは、ぼくをグスリとよぶんや。パンウリというおかあちゃんから、4ぼんめにうまれたんが、ぼくや。おっぱいからはなれたとき、ここにやってきて…。</p> |
| <p>『リクはよわくない』(Eク)</p> <p>坂上 忍/作 くっきー！/絵 インプレス</p> <p>ぼくがらさいのあるひ、からだがよわくて、やせっぽちなちいさなこいぬを、おとうさんがもってきました。なまえはリク。</p> | <p>『しろ』(Eタ)</p> <p>芥川 龍之介/原作 田中 伸介/絵 みらいパブリッシング</p> <p>いぬの「しろ」は、あるひ、「いぬごろし」とよばれるにんげんに、ともだちがつかまりそうになっていたのをみすてて、にげてしまいました。</p> |
| <p>『いぬのサビシー』(Eス)</p> <p>サンディ ファッセル/文 タル スワナキッ/絵 青山 南/訳 光村教育図書</p> <p>かいぬしになまえをつけてもらえないこいぬは、じぶんに「サビシー」となまえをつけました。あるひ、かいぬしは、サビシーをおいていえをでていきました。</p> | <p>『いまのわたしにできること』(Eバ)</p> <p>リサ バップ/作 菊田 まりこ/訳 WAVE出版</p> <p>としょかんからこいぬをもらったマディ。いのちをそだてることのせきにんについてかんがえるとどうじに、すてられたどうぶつがたくさんいることをしりました。</p> |
| <p>『ペロのおしごと』(Eヒ)</p> <p>樋勝 朋巳/作 小学館</p> <p>いぬのペロはかいぬしの“おかあさん”がだいすき。“おかあさん”にネックレスをプレゼントするために、ペロはおしごとをさがしにでかけます。</p> | <p>『あむ』(Eヤ)</p> <p>小風 さち/さく 山口 マオ/え 福音館書店</p> <p>かいぬしのかっちゃんのことですきですきでたまらないいぬのあむ。あるひ、あむは、かっちゃんをおってひとりでうみにむかい…。</p> |
| <p>『もうどう犬べえべ』(Eビ)</p> <p>セアまり/文 平澤 朋子/絵 ほるぶ出版</p> <p>べえべは、いつもこまったかおをしたいぬです。でもじつは、「もうどうけん」というとくべつないぬなのです。</p> | <p>『ぜったいいぬをかうからね』(TEチ)</p> <p>ローレン チャイルド/作 木坂 涼/訳 フレーベル館</p> <p>チャーリーのいもうと・ローラは、さいきんいぬにむちゅう。どうしてもかいたくて、どんないぬがほしいか、あれこれかんがえます。</p> |

| その他のどうぶつ | |
|---|---|
| <p>『しっぽしっぽだーれ?』(Eク)</p> <p>穂高 順也/作 クレーン 謙/絵 今泉 忠明/監修 岩崎書店</p> <p>いきものによって、しっぽのかたちはさまざま。いったいだれのしっぽか、わかるかな?しっぽしっぽだーれ?ページをめくると…。</p> | <p>『ためきのおもち』(Eセ)</p> <p>せな けいこ/作・絵 金の星社</p> <p>ゆきのふるよる。おなかのすいた、くいしんぼうのためきは、かってにうさぎのいえにはいって、おもちをたべてしまいます。そこへ、うさぎがもどってきて…。</p> |
| <p>『水がすきじゃなかったアヒル』(Eス)</p> <p>スティーブ スモール/絵と文 青山 南/訳 化学同人</p> <p>みずがすきじゃないアヒルがいました。ところが、みずのすきなカエルとであってしまいました。すきなこと、にがてなことがちがうけれど…。</p> | <p>『トカゲのともだち』(Eア)</p> <p>あさお よう/作・絵 フレーベル館</p> <p>よみたいほんをえらんで、ソファにすわってくつろぐ。ひとりのじかんをたのしんでいたトカゲのいえに、あるひ、にんげんのおとこのこがあらわれた。</p> |
| <p>『どうぶつたいじゅうそくてい』(Eタ)</p> <p>聞かせ屋。けいたろう/文 高島 純/絵 アリス館</p> <p>きょうはどうぶつえんのたいじゅうそくていです。パンダやぶた、ぞうがならんでじゅんぼんをまっています。さいしょにはかるのは、パンダ。</p> | <p>『クマと少年』(Eア)</p> <p>あべ 弘士/作 フロンズ新社</p> <p>アイヌのしょうねんといっしょにそだった、コグマのキムルン。クマにかみのくにへかえってもらうぎしきがかづいたあるひ、キムルンがいなくなってしまう。</p> |
| <p>『ヒョウのハチ』(Eマ)</p> <p>門田 隆将/ぶん 松成 真理子/え 小学館</p> <p>ちゅうごくのやまのなかで、あかちゃんヒョウとであつたにほんのへいたいたち。へいたいたちは、ヒョウをハチとなづけ、たいへんかわいがりましたが…。</p> | <p>『ねずみくんのうんどうかい』(Eウ)</p> <p>なかえ よしを/作 上野 紀子/絵 ポプラ社</p> <p>ねずみくとねみちゃんは、うさぎさんとかめさんにてあいました。うさぎさんは、うんどうかいで、かめさんときょうそうしたいといっています。</p> |
| <p>『ねえねえパンダちゃん』(Eニ)</p> <p>西村 敏雄/さく ほるぶ出版</p> <p>パンダちゃんがあそんでいます。「パンダちゃん、なにしているの?」ときくと、パンダちゃんは、はずかしがりやなので、もーじもーじしゃいます。</p> | <p>『ぼくはフクロウ』(Eバ)</p> <p>フィリップ バンティング/作 木坂 涼/訳 BL出版</p> <p>きのえだに、いちわのフクロウがとまっています。ぼくは、フクロウ。ぼくは、タカイダロウ。ぼくは、ヒクイダロウ。しごと、ガンバロウ。</p> |
| <p>『おさるちゃんのおしごと』(Eヒ)</p> <p>樋勝 朋巳/作 小学館</p> <p>おさるちゃんは「せいこつじん」ではたらいています。かんじゃさんのいたいところをマッサージしてあげるおしごとです。</p> | <p>『とんでいく』(Eオ)</p> <p>風木 一人/さく 岡崎 立/え 福音館書店</p> <p>おれ、タカ。そらいちばんのスピードじまん。きょうはしんきろくつくてやる!とんがりやまのてっぺんまで、いなくまいたいにひとつとびだ。</p> |
| <p>『ゴリラさんだめです』(Eキ)</p> <p>キューライス/さく・え イースト・プレス</p> <p>うさぎのうさやまさんが、じまのはたけをたがやしていると、とつてもおおきくてこわそうなゴリラがいえのまえにやってきました。</p> | <p>『さるじぞう』(Eサ)</p> <p>大黒 みほ/再話 斎藤 隆夫/絵 あすなろ書房</p> <p>おもちをたらふくたべてねむってしまったおじいさん。それをさるたちはおじぞうさまとまちがえて…。ゆかいなむかしばなしえほん。</p> |
| <p>『かめくんのさんぽ』(Eナ)</p> <p>なかの ひろたか/さく・え 福音館書店</p> <p>きょうはいいんき、かめくんはごきげんでさんぽにでかけます。わにくんや、かばくんもさそいますが、みんなおひるねちゅう。</p> | <p>『あるくくま』(Eソ)</p> <p>谷川 俊太郎/文 祖敷 大輔/絵 クレヨンハウス</p> <p>ぼくはくまだ。なまえはまだない。ぼくは「どこか」をめざして、あるくのがすきだ。きょうもぼくはあるきだし…。</p> |

★せいかつ

| | |
|---|---|
| あいさつ | |
| <p>『トのかんぱい』(Eス)</p> <p>タカハシ ペチカ/さく すぎはら けいたろう/え 至光社</p> <p>トは「かんぱい」がだいすきなおんなのこ。あるひ、トは、もつとみんなと「かんぱい」しようとおもいつき、はりきってでかけました。</p> | <p>『おやすみ、ぼく』(Eク)</p> <p>アンドリュウ ダッド/文 エマクエイ/絵 落合 恵子/訳 クレヨンハウス</p> <p>おやすみ、ぼくのひざさん。ありがとう、ぼくをささえてくれて。オランウータンの「ぼく」がねむりにつくまでをえがく、やさしいおはなし。</p> |
| <p>『とりあえずごめんなさい』(Eゴ)</p> <p>五味 太郎/作 絵本館</p> <p>うえきやさんが、とこやさんをしていて、ごめんなさい。とりあえず「ごめんなさい」といいたくなる、ゆかいなぼめんがいっぱいの、たのしいえほん。</p> | <p>『おかあさんありがとう』(Eミ)</p> <p>みやにしたつや/作・絵 金の星社</p> <p>まもってくれたり、たすけてくれたり。おかあさん、いつもありがとう。おとうさんが、ぼくがうまれたときのことをおしえてくれたよ。うんでくれて、ありがとう。</p> |
| がっこう・ほいくえん・ようちえん | |
| <p>『学校が大好きアクバルくん』(Eナ)</p> <p>長倉 洋海/著 アリス館</p> <p>アフガニスタンのやまのなかにあるがっこうにかようおとこのこ、アクバルくん。がっこうがだいすきなアクバルくんのいちにちをしょうかいします。</p> | <p>『ぼくとがっこう』(Eハ)</p> <p>谷川 俊太郎/文 はた こうしろう/絵 アリス館</p> <p>うちにいるとぼくはこども。ぼくはぼくでいられる。がっこうにいくとぼくはせいと。ぼくはおおぜいのなかのひとりになる。</p> |
| <p>『しょうがっこうがだいすき』(Eエ)</p> <p>うい/作 えがしら みちこ/絵 学研プラス</p> <p>しょうがくせいになるみんなにむけて、しょうがく2ねんせいのせんぱいが、しょうがっこうせいかつをたのしくすすぐために、アドバイスします。</p> | <p>『おめでとうかいぎ』(Eハ)</p> <p>浜田 桂子/作 理論社</p> <p>いちねんせいって、どんなかんじなんだろう。あたらしいともだちは、できるかな。そつえんしたゆうきくんは、なかなかねむれませぬ。</p> |
| <p>『きょうからほいくえん』(Eモ)</p> <p>エヴァ モンタナーリ/作 石津 ちひろ/訳 岩崎書店</p> <p>きょうは、わにくんがはじめてほいくえんに行くひ。あさごはんをすっかりたべて、さあしゅっぱつ！ぞうせんせいが「ようこそー」とおでむかえてくれたよ。</p> | <p>『アフガニスタンのひみつの学校』(TEウ)</p> <p>ジャンネット ウィンター/作 福本 友美子/訳 さ・え・ら書房</p> <p>タリバンにしいはされたアフガニスタン。がっこうにいくことをきんじられ、りょうしんもいなくなり、ナスリーンは、しゃべらなくなってしまいました。</p> |
| おしごと・おみせ | |
| <p>『ぼくはほんやさんになる』(Eツ)</p> <p>菊池 壮一/さく 塚本 やすし/え ニコモ</p> <p>ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは、ほんやさんをやっています。がっこうがおわっておみせにいくと、おばあちゃんはよくえほんをよんでくれました。</p> | <p>『キオスク』(Eメ)</p> <p>アテネ メルツェ/さく くらさわ あゆみ/やく 潮出版社</p> <p>キオスクではたらくオルガは、おおきいからだのために、キオスクからでることができません。まいにち、ざっしをめぐってたびにでることをゆめんでいます。</p> |
| <p>『おたすけびととおべんとう』(Eコ)</p> <p>なかがわ ちひろ/文 コヨセ ジュンジ/絵 徳間書店</p> <p>おべんとうをつくったおとうさんが、おたすけびとに、おべんとうのはいたつをたのみました。とどけさきは、ひょうたんいけの、たんぼほじまです。</p> | <p>『ルラルさんのだいくしごと』(Eイ)</p> <p>いとう ひろし/作 ポプラ社</p> <p>ルラルさんはほんもののだいくさんではありません。でも、だいくしごとのうでまえば、なかなかのものです。まどやドアをなおすのなんてあさめしまえ。</p> |
| <p>『やきいもやゴンラ』(Eク)</p> <p>ながい いくこ/作 くすはら 順子/絵 ポプラ社</p> <p>ゴリラのゴンラのやきいもやは、いつもぎょうれつができています。「いちどはまったら、やみつき」「まるでぼっかぼかのおひさまのあじ」とだいひょうばん。</p> | <p>『おれ、よびだしになる』(Eイ)</p> <p>中川 ひろたか/文 石川 えりこ/絵 アリス館</p> <p>ちいさいころからすもうがすきで、テレビをみながらよびださんのまねをしていたぼくは、ちゅうがくをそつぎょうすると、ついによびだしになり…。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>『どうぶつパンやさん』(MEサ)</p> <p>さとう めぐみ/作・絵 ひかりのくに</p> <p>まえからよむと、パンをつくるパンやさんのおはなし、うしろからよむと、パンをかいにきたネコのおやこのおはなしがたのしめる、2どおいしいえほん。</p> | <p>『もりのかぼんやさん』(EF)</p> <p>ふくざわ ゆみこ/作・絵 学研プラス</p> <p>はりねずみのハリハリは、もりのかぼんやさん。あるひ、おみせにないかぼんがほしいというおきゃくさんがやってきて…。</p> |
| <p>いえ・にわ</p> | |
| <p>『アパートのひとたち』(Eツ)</p> <p>エイナット ツアルファティ/作 青山 南/訳 光村教育図書</p> <p>わたしがすんでるのは、7かいだてのアパート。どのうちも、ドアがちょっとずつちがう。1かいのうちのドアは、かぎがいっぱい。</p> | <p>『楽園のむこうがわ』(TEノ)</p> <p>ノリタケ ユキコ/作 椎名 かおる/文 あすなろ書房</p> <p>しまにじょうりくした、ふたりのしょうねんは、おおくのどうぶつたちがくらすもりにやってきました。そこでりそうのいえづくりをはじめました。</p> |
| <p>『るすばんかいぎ』(Eハ)</p> <p>浜田 桂子/作 理論社</p> <p>ゆうきくんがおかあさんとおとうさんとまりがけでおでかけしているあいだに、るすのいえのなかで、かぐたちの「るすばんかいぎ」がひらかれていました。</p> | <p>『ほんのにわ』(Eミ)</p> <p>みやざき ひろかず/[作] 偕成社</p> <p>ぼくは、にわし。ていれをししたり、あたらしいにわをつくったりするのがしごとだ。とうさんがのこした、にわのほんをよんでいたら、ふしぎなにわをみつけた。</p> |
| <p>きょうだい・しまい</p> | |
| <p>『空とぶ馬と七人のきょうだい』(Eボ)</p> <p>イチノロブ ガンバートル/文 パーサンスレン ボロルマー/絵 津田 紀子/訳 廣済堂あかつき</p> <p>むかし、そらにほしがなかったころ、モンゴルのそうげんではおうさまがうつくしいおうじたちとくらしていました。</p> | <p>『としょかんのきょうりゅう』(TES)</p> <p>鈴木 まもる/作・絵 徳間書店</p> <p>「きょうりゅうもどうぶつだ」とかいてあるひょうしをひらいてみると、そこはなんときょうりゅうとどうぶつのいるせかいで…。</p> |
| <p>『ビーナスとセリーナ』(Eラ)</p> <p>リサ ランサム/文 ジェイムズ ランサム/絵 飯田 藍/日本語版監修 松浦 直美/訳 西村書店</p> <p>せかいさいこうのテニスせんしゅになったビーナスとセリーナ。アスリートとして、にんげんとしてせいちょうしていくすがたをコラージュアートでえがきます。</p> | <p>『字のないはがき』(Eニ)</p> <p>向田 邦子/原作 角田 光代/文 西 加奈子/絵 小学館</p> <p>そかいすることになったいもうとに、おとうさんはたくさんのはがきをわたして、「げんきなひは、はがきにまるをかいて、ポストにいれなさい」といいました。</p> |
| <p>のりもの</p> | |
| <p>『でんしゃにのるよひとりでのるよ』(Eミ)</p> <p>村せ ひでのぶ/さく 宮澤 ナツ/え 交通新聞社</p> <p>はるとは、おじいちゃんのをいえにあそびにいくため、ひとりでのんしゃにのることに。ひとりでのるのははじめてです。</p> | <p>『のびるじどうしゃ』(Eヒ)</p> <p>平山 暉彦/さく 福音館書店</p> <p>しょうぼうはしごしゃ、マテリアルハンドリングしゃ、ハイリフトローダー…。いちぶがのびるくるまのかつやくをしょうかい。</p> |
| <p>『のりものいっぱい！どこにいくの？』(Eマ)</p> <p>間瀬 なおかた/作・絵 ひさかたチャイルド</p> <p>ブルルンルン。あかいじどうしゃにのって、かぞくそろっておでかけ。まち、うみ、やま…。きょうはどこにいくの？</p> | <p>『なにはこんでるの？』(AES)</p> <p>スズキ サトル/さく ほるぶ出版</p> <p>タンクローリー、きゆうきゆうしゃ、バス…。はたらくるまがなにをこんでいるのか、どんなしごとをしているのかが、ページをめくるとわかるしかけえほん。</p> |
| <p>『パンでんしゃ』(Eキ)</p> <p>有田 奈央/文 喜湯本 のづみ/絵 交通新聞社</p> <p>パンでできたパンでんしゃにのったウサギたち。パンをたべると、でんしゃはどんどんちいさくなり、ついにはじけてしまいました。</p> | <p>『ちいさなひこうきのたび』(Eミ)</p> <p>みねお みつ/さく 福音館書店</p> <p>せいびしがひこうきのてんけんをして、パイロットがしまのてんきをしらべたら、いよいよしゅっぱつです。たのしいのりものえほん。</p> |

★きもち

| | |
|---|--|
| <p>『ここにいる』(Eア)</p> <p>あおき ひろえ/作 廣済堂あかつき</p> <p>はたらくことがだいすきだった、おとうさん。わたしがけっこんし、こどもがうまると、おとうさんはおじいちゃんになって…。</p> | <p>『なんでもモッテルさん』(Eア)</p> <p>竹下 文子/文 アヤ井 アキコ/絵 あかね書房</p> <p>モッテルさんは、おかねもち。なんでもかって、なんでももっています。ところがあるひ、みたこともないようなおおあらしがやってきて…。</p> |
| <p>『オタマジャクシつかまえた！』(Eイ)</p> <p>いしい つとむ/[作] 文研出版</p> <p>がっこうのかえりみち、いけでカメをつかまえたおとこのこたちが、カメをオタマジャクシとおなじすいそうにいれると…。</p> | <p>『ごめんなさい！』(Eイ)</p> <p>いもと ようこ/作・絵 金の星社</p> <p>だいすきなおいものなえをうえたおばあちゃんは、そだっていくのを、まいにちたのしみにしていました。おいものなえはつるのをのびし、おおきくなりました。</p> |
| <p>『ぼく、ドジオ。』(Eイ)</p> <p>いわい としお/さく 小学館</p> <p>ぼくのなまえはトシオ。でも、おねえちゃんたちは、ぼくのことを「ドジオ」ってよぶ。なにをしても、ドジばかり。どうして、ぼくはこんなにドジなんだろう…。</p> | <p>『おにたのぼうし』(Eイ)</p> <p>あまん きみこ/ぶん いわさき ちひろ/え ポプラ社</p> <p>ものおきごやのてんじょうに、おにたというなまえのちいさなくろおにのこどもがすんでいました。せつぶんのよる、おにたはものおきごやをでていきました。</p> |
| <p>『けんかのきもち』(Eイ)</p> <p>柴田 愛子/文 伊藤 秀男/絵 ポプラ社</p> <p>なかよしのこうたとけんかしたたいは、なきながらいえにかえた。こうたがあやまってくれたけれど、けんかのきもちはおわらない。</p> | <p>『ぼくはなきました』(Eイ)</p> <p>くすのきしげのり/さく 石井 聖岳/え 東洋館出版社</p> <p>じぶんのいいところがみつけれないそうたくん。ともだちのいいところは、たくさんみつけれられるのに。そうたくんはなきそうになります。</p> |
| <p>『おこだでませんように』(Eイ)</p> <p>くすのきしげのり/作 石井 聖岳/絵 小学館</p> <p>ぼくはいつも、いえでもがっこうでもおこられる。どないしたらおこられへのやろ。どないしたらほめてもらえるのやろ。ぼくは「わるいこ」なんやろか…。</p> | <p>『きょうもうれしい』(Eエ)</p> <p>えがしら みちこ/作・絵 理論社</p> <p>きのうの「うれしい」はなんだった？きょうの「うれしい」はなんだらう？ あすもきつと「うれしい」ね。こどもの「うれしい」がいっぱいのえほん。</p> |
| <p>『ねこはまいにちいそがしい』(Eウ)</p> <p>ジョー ウィリアムソン/作・絵 いちだいづみ/訳 徳間書店</p> <p>ぼくはねこ。まいにちとってもいそがしい。あさからばんまで、かぞくのために、いろんなことをしてあげてる。あのひとたち、ぼくがいなくてだめなんだ。</p> | <p>『かたあしだちょうのエルフ』(Eオ)</p> <p>おのき がく/ぶん・え ポプラ社</p> <p>わかくてつよい、おおきなおすのだちょうのエルフは、あるひ、なかまをたすけるため、ライオンとたたかい、あしをいっぽんくいちぎられてしまいました。</p> |
| <p>『さくらもちのさくらこさん』(Eオ)</p> <p>岡田 よしたか/さく ブロンズ新社</p> <p>さくらもちのさくらこさんは、たいくつで、ごきげんななめです。「こんなはっぱのふくも、もういらーん！」と、ぬいでしまいました。</p> | <p>『おおゆき』(Eカ)</p> <p>最上 一平/作 加藤 休三/絵 鈴木出版</p> <p>ゆうきとだいきはゆきぐににすんでいます。おみそかのあさ、ゆうきたちのいえのまえのこくどうで、おおくのくるまがうごけなくなっていました。</p> |
| <p>『どうぞのいす』(Eカ)</p> <p>香山 美子/作 柿本 幸造/絵 ひさかたチャイルド</p> <p>ウサギさんがちいさいいすをつくります。「どうぞのいす」というたてふだをいっしょにたてておいたところ、どうぶつたちがつぎつぎとやってきて…。</p> | <p>『きつとあえる』(Eカ)</p> <p>鎌田 暢子/さく 福音館書店</p> <p>わたりどりのマガンのこどもトットと、コハウチョウのクークー。とおいきたのくからやってきて、にほんでであったふたりは、やがてともだちに。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>『シリルとパット ともだちになろう』(Eグ)</p> <p>エミリー グラヴェット/さく 福本 友美子/やく フレーベル館</p> <p>リスのシリルと、シリルにそっくりのパット。でも、ふたりがともだちになれるなんてだれもかんがえません。なぜかって、それは…。</p> | <p>『100万回生きたねこ』(Eサ)</p> <p>佐野 洋子/作・絵 講談社</p> <p>100まんかいうまれかわって、かいぬしのもとでしんでゆくねこ。かいぬしたちはねこのしをひどくかなしんだが、ねこはしぬのなんかへいきだった。</p> |
| <p>『そらはあおくて』(Eス)</p> <p>シャーロット ゴロウ/文 なかがわ ちひろ/訳 杉浦 さやか/絵 あすなろ書房</p> <p>たいせつなことはすこしもかわっていない。そらはあおくて、くさはみどり。おかあさんやおばあちゃんがおんなのこだったころも。</p> | <p>『たいやきのちから』(Eソ)</p> <p>みやじ ひろこ/さく 園 りんご/え 文芸社</p> <p>ばあちゃん、たいやきかってきた。でかけたついでに、かってきた。きょうのおやつは、たいやきだ。さあさあ、みんなでたべましょう。</p> |
| <p>『花さき山』(Eタ)</p> <p>斎藤 隆介/作 滝平 二郎/絵 岩崎書店</p> <p>やまんばにであったあや。やまんばは、ひとのことをおもうやさしいきもちが、はなさきやまにはなをさかせるのだとかたりかけるのでした…。</p> | <p>『ムカムカドッカーン!』(Eダ)</p> <p>ミレイユ ダランセ//作 ふしみ みさを//訳 パイインターナショナル</p> <p>いちにち、いやなことばかりだったロベール。へやにとじこもると、くちから、おおきくてあかいかたまりがいきとびだしました。</p> |
| <p>『イカリメーター』(Eツ)</p> <p>とうやま そうた/さく 塚本 やすし/え 文芸社</p> <p>いつもおかあさんにおこられているおとこのこは、7さいのたんじょうびにおじいちゃんから、ひとがおこっているかがわかるメガネをもらった。</p> | <p>『いらいらばいばい』(Eツ)</p> <p>つむばば/さく・え 日本アンガーマネジメント協会/監修 鈴木出版</p> <p>ぼくは、かいじゅうのこ。かいじゅうのせかいでは、いつもみんなおこってる。いちばんつよいかいじゅうフンガーは、やりたいほうだい。</p> |
| <p>『かべのむこうになにがある?』(Eテ)</p> <p>ブリッタ テッケントラップ/作 風木 一人/訳 BL出版</p> <p>おおきなあかいかべがありました。どこからどこまでつづいているのか、だれがいつどうやってつくったのか、きにするひとはいません。</p> | <p>『おくりもの』(Eト)</p> <p>豊福 まきこ/作 BL出版</p> <p>じぶんのハリがきらいなハリネズミくん。あるひ、クマさんとかわしたかいわをきっかけに、ハリであみものをしてみることをおもいつきます。</p> |
| <p>『いっぴきぐらしのジュリアン』(Eト)</p> <p>ジョー トッド-スタントン/作 いわじょう よしひと/訳 岩崎書店</p> <p>ジュリアンは、いっぴきぐらしののねずみ。ちじょうのどうぶつはかれをたべようとするし、ちかのどうぶつはみんなじゃまにおもえる。</p> | <p>『しげちゃんのはつこい』(Eハ)</p> <p>室井 滋/作 長谷川 義史/絵 金の星社</p> <p>しげちゃんのクラスにやってきたてんこうせいひは、やせていているじろのおとこのこ。そのこのせきは、しげちゃんのとまりになって。</p> |
| <p>『生きるお手伝い』(Eハ)</p> <p>森田 秀平/さく 森田 沙耶/さく 萩原 まお/え 文芸社</p> <p>ひさしぶりにみたおばあちゃんは、すごくふけて、とてもちいさかった。なんでもできるおばあちゃんだったのに、だんだんできないことがふえていった。</p> | <p>『ええところ』(Eフ)</p> <p>くすのきしげのり/作 ふるしょう ようこ/絵 学研プラス</p> <p>あいちゃんが「わたして、ええところひとつもないなあ」と、ともちゃんにいうと…。こころがげんきになるえほん。</p> |
| <p>『へなちょこ』(Eフ)</p> <p>くすのきしげのり/作 ふるしょう ようこ/絵 学研プラス</p> <p>たいいくがとくいなともちゃんは「なわとび」だけがにがて。「できない」といえずに、つつよがって…。</p> | <p>『としょかんライオン』(Eホ)</p> <p>ミシェル ヌードセン/さく ケビン ホークス/え 福本 友美子/やく 岩崎書店</p> <p>あるひ、としょかにライオンがやってきました。でもかんちようさんは、としょかんのきまりをまもっていれば、いてもいいといいました。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>『きたかぜとたいよう』(Eヤ)</p> <p>[イソップ/原作] 蜂飼 耳/文 山福 朱実/絵 岩崎書店</p> <p>あるひ、きたかぜとたいようが、ちからくらべをすることになりました。みちをあるいているたびびとのふくを、さきにぬがせたほうがちです。</p> | <p>『ひとはなくもの』(Eヤ)</p> <p>みやの すみれ/作 やべ みつり/絵 こぐま社</p> <p>すみれは、よくなきます。かなしいとき、いたいとき、こわいとき、くやしいときになきます。すみれのおかあさんは、なくこはきらいといひます。</p> |
| <p>『おじいちゃんの手帳』(Eヨ)</p> <p>藤川 幸之助/さく よしだ よしえい/え クリエイツかもがわ</p> <p>いつもちいさなてちょうをもちあるいているおじいちゃん。なかには「なまえはなんですか？」などのもんだいがかいてあって…。</p> | <p>『花のすきなおおかみ』(Eヨ)</p> <p>きむら ゆういち/文 葉 祥明/絵 新日本出版社</p> <p>みどりかがやくそうげんで、はじめてであった2ひきのおおかみ、ウルとルーフ。“おおかみのくせに”といわれても、はながすき。</p> |
| <p>『てぶくろ』(Eラ)</p> <p>エフゲーニ ラチョフ/え うちだ りさこ/やく 福音館書店</p> <p>ゆきのふりつもるもりで、おじいさんがてぶくろをかたほうおとしました。すると、ねずみ、かえる、うさぎたちが、てぶくろのなかにつぎつぎともぐりこみ…。</p> | <p>『ともだち』(Eワ)</p> <p>谷川 俊太郎/文 和田 誠/絵 玉川大学出版部</p> <p>ともだちってかぜがうつつもへいきだっていってくれるひと。だれだっていひとりぼっちではいきてゆけない。ともだちってすばらしい。</p> |
| <p>『ヤクーバとライオン 1』(TEデ)</p> <p>ティエリー デデー/作 柳田 邦男/訳 講談社</p> <p>アフリカおくちのむら。そこでしょうねんがいちにんまへのわかものとしてみとめられるには、ひとりでライオンをたおさなければならなかつた。</p> | <p>『わたしのせいじゃない』(YAES)</p> <p>レイフ クリスチャンソン/文 にもんじ まさあき/訳 ディック ステンベリ/絵 岩崎書店</p> <p>たんたんとりかえされる「わたしのせいじゃないわ」から、ふかいしやくのうみへさそう、うすいけどないようのこいえほん。</p> |

★ユーモア

| | |
|--|---|
| <p>『うしはどこでも「モ〜!』』(EA)</p> <p>エレン スラスキー ワインスティーン/作 ケネス アンダーソン/絵 桂 かい枝/訳 鈴木出版</p> <p>にほんのあひるは「ガー、ガー」となくけれど、イギリスでは「クワック、クワック」、フランスでは「クワン、クワン」となくだって!?</p> | <p>『へんしんたんてい』(EA)</p> <p>あきやま だだし/作・絵 金の星社</p> <p>どんなもんだいもかいけつする、へんしんたんていとうじょう。ロダンのちようこくがなくなった! さて、どこにあるのかな?</p> |
| <p>『さるのせんせいとへびのかんごふさん』(EA)</p> <p>穂高 順也/ぶん 荒井 良二/え ビリケン出版</p> <p>どうぶつむらのおいしやさんは、とてもやさしいさるのせんせい。せんせいのこころづよいパートナーは、へびのかんごふさん。</p> | <p>『くつやさんとおぼけ』(EI)</p> <p>いわさき さとこ/作 BL出版</p> <p>しょうてんがいいにあるくつやさんを、よなよなおぼけたちがたずねてくる。おじいさんはこわがりながらも、おぼけたちのくつのそうだんにこたえていった。</p> |
| <p>『ぞうのヘンリエッタさん』(EU)</p> <p>リズ ウォン/作・絵 石津 ちひろ/訳 岩崎書店</p> <p>ぞうのヘンリエッタさんは、しずかなくらしがすきでした。ところがあるひをさかいに、ヘンリエッタさんのせいかつは、がらりとかわりました。</p> | <p>『ねずみくんのチョコッキ』(EU)</p> <p>なかえ よしを/作 上野 紀子/絵 ポプラ社</p> <p>ねずみくんのチョコッキを、さるやライオンやぞうたちがつぎつぎに「いいチョコッキだね。ちょっときさせて。すこしきついがにあうかな?」</p> |
| <p>『ちくわのわーさん』(EO)</p> <p>岡田 よしたか/さく ブロンズ新社</p> <p>くちぶえをふきながらみちをあるいているのは、ちくわのわーさん。わーさんは、スパゲティーとマカロニのきょうだいとあそんだり、みちくさばかり。</p> | <p>『オニのふろめぐり』(EO)</p> <p>岡田 よしたか/作 小学館</p> <p>にんげんのまちのおふろやさんで、にんげんをおどろかせてたのしんだふたりのあかオニがつぎにいったのは、ワニのおふろやさん。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>『おせんべいわれた』(Eオ)</p> <p>岡田 よしたか/著 出版ワークス</p> <p>テーブルにおちて、バナナのかたちになれたおせんべいのかげらが「あれえ、ぼくはひょっとしたら」と、バナナにちかづき…。</p> | <p>『もくもくやかん』(Eカ)</p> <p>かがくい ひろし/作 講談社</p> <p>なんにちもあめがふらず、だいちがひあがっていた ときのことでした。ちゃぼんちゃぼん、とやかんがはしています。</p> |
| <p>『まぐらのせんになん そこのあなたの巻』(Eカ)</p> <p>かがくい ひろし/著 佼成出版社</p> <p>まぐらのせんになんがおともをつれて、さんぼをしていると、ぞうさんや、きりんさん、うさぎさんが、あなにはまっています。</p> | <p>『がまんのケーキ』(Eカ)</p> <p>かがくい ひろし/作・絵 教育画劇</p> <p>こいたろうくんとかめぞうさんのまえに、おおきなケーキがあります。いちごがいっぱいのっていて、とってもおいしそう！</p> |
| <p>『ちゃのまのおさぶとん』(Eカ)</p> <p>かねこ まき/作 アリス館</p> <p>みんなのおしりをささえる、ちゃのまのおさぶとん。いつのまにか、おなかのわたがべっちゃんこに。</p> | <p>『でんごんでーす』(Eカ)</p> <p>マック パーネット/文 ジェン カラーチー/絵 林 木林/訳 講談社</p> <p>「そろそろぼんごはんだからかえっておいで」と、おかあさんどりからピーターへでんごん。でんせんのおかげで、とりたちのでんごんゲームのはじまりです。</p> |
| <p>『がちょうときつね』(Eケ)</p> <p>ジャック ケント/さく いしざわ ひろこ/やく リブリオ出版</p> <p>うぬぼれやのキツネはきのいいガチョウをばかにしていますが、ガチョウのちゅういをむしってさいなんにあうのはいつもキツネ。</p> | <p>『パンドろぼう』(Eシ)</p> <p>柴田 ケイコ/作 KADOKAWA</p> <p>パンドろぼうは、おいしいパンをさがしもとめるどろぼう。パンドろぼうは、もりのなかで「せかいいいちおいしい」とかいてあるパンやさんをつつけました。</p> |
| <p>『歯いしゃのチュー先生』(Eス)</p> <p>ウィリアム スタイグ/ぶんとえ うつみ まお/やく 評論社</p> <p>どんなむしばもおしてしまうチューせんせいには、こがらなからだをいかして、ちりょうをするので、おおきなどうぶつには、とくににんぎがあります。</p> | <p>『なんでもない』(Eス)</p> <p>鈴木 のりたけ/作・絵 アリス館</p> <p>のろまなカメはいやだって？ そんなのなんでもない。いそいでやらなきゃいけないことなんてないから、はやくごきまわるひつようがないのさ。</p> |
| <p>『へんしん！ かおはめえほん おしごと』(Eタ)</p> <p>ささがわ いさむ/作 たがわ ひでき/絵 学研プラス</p> <p>クリームぬりぬり、パティシエさん。ページをめくって、あなのあいたところにかおをはめて、いろいろおしごとのひとになりきってあそぶえほん。</p> | <p>『おとうふ2ちょう』(Eタ)</p> <p>くろだ かおる/さく たけがみ たえ/え ポプラ社</p> <p>おつかいのかえりみち、おかあさんからつかいかのかいものをたのまれ、「おとうふ2ちょうはおもくてもてない」とウソをいってしまったケンちゃん。</p> |
| <p>『もうちよつともうちよつと』(Eタ)</p> <p>きむら ゆういち/文 高島 純/絵 福音館書店</p> <p>おなかのすいたコブタが、りんごをみつけました。りんごは、きからおちて、いわのあなのなかにコロコロ。</p> | <p>『フンころがさず』(Eタ)</p> <p>大塚 健太/作 高島 純/絵 KADOKAWA</p> <p>ぼくは、フンころがすのがだいすきなフンコロガシ。まわりのみんなは「フンをころがすなんて、へんなやつだな」という。</p> |
| <p>『かつおどりとおほうどり』(Eタ)</p> <p>谷口 國博/作・絵 童心社</p> <p>かつおどりがすむ、かつおどりじまのとなりのしまに、あほうどりがひっこしてきました。いつもたのしそうなあほうどりをみていた、かつおどりは…。</p> | <p>『あつごきぶりだ！』(Eツ)</p> <p>塚本 やすし/作 ポプラ社</p> <p>かぞくみんなで、たのしいゆうしよくのじかんです。「あっ！ ごきぶりだ！」ばざっ！ おとうさんが、しんぶんしてつかまえました。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>『らいおんレストラン』(Eツ)</p> <p>やまぐち りりこ/文 土屋 富士夫/絵 アリス館</p> <p>「さいごに「ん」のつくもの、はいるべからず」というきまりがあるシリー トリーおうこくに、フライパンをしょったらいおんがはいりこんでしま いました。</p> | <p>『うろおぼえ一家のおかいもの』(Eデ)</p> <p>出口 かずみ/作 理論社</p> <p>あひるのいっかは、そろいもそろって、うろおぼえ。かいものにくこ とをおもいだしたけど、なにをかいにくのかうろおぼえ。</p> |
| <p>『どきどきオムライス』(Eド)</p> <p>苺田 澄子/作 ドーリー/絵 鈴木出版</p> <p>オムライスがだいすきなこぶたのぶうぶは、きょうもオムライスをたべ ようとしたが、れいぞうこにたまごがありません。</p> | <p>『はかせのふしぎなプール』(Eナ)</p> <p>中村 至男/さく 福音館書店</p> <p>はかせが、入れたものがなんでもおおきくなるプールをはつめいしま した。はかせはプールのすごさをみせようと、いろいろなものをいれ て…。</p> |
| <p>『ぶつくさモンクターレさん』(Eニ)</p> <p>サトシン/作 西村 敏雄/絵 PHP研究所</p> <p>モンクターレさんは、いつでもどこでももんくばかり。まがっている みちにぶつくさ、かわがあつたらぶつくさ、ようふくやでもぶつくさ。</p> | <p>『いいからいいから [1]』(Eハ)</p> <p>長谷川 義史/作 絵本館</p> <p>とつぜんあらわれたかみなりのおやこを「いいから いいから」といっ て、もてなすおじいちゃん。ユーモラスでおもわずえがおになるえほ ん。</p> |
| <p>『串かつやよしこさん』(Eハ)</p> <p>長谷川 義史/作 アリス館</p> <p>よしこさんのくしかつは、ひとびとをしあわせにするくしかつです。プリ プリおこったおきゃくさんには、いかをカラリとあげました。</p> | <p>『にくのくに』(Eハ)</p> <p>はらべこめがね/作 教育画劇</p> <p>にくのくにでは、いろいろなにくのおうさまが、じまんのおしろをかま えてくらしています。きょうは、にくのくにいちばんのおうさまをきめ る、だいじなひ。</p> |
| <p>『なんだかたのしろう』(Eフ)</p> <p>古内 ヨシ/作 絵本館</p> <p>プウ～！ライオンのとうさんのかわいいオナラをきいたこともライオン が、キャッハッハ、キャッハッハとわらった。</p> | <p>『いぬのおしりのだいじけん』(Eマ)</p> <p>ピーター ベントリー/文 松岡 芽衣/絵 灰島 かり/訳 ほるぶ出版</p> <p>せかいじゅうのいぬたちがあつまった、パーティかいじょうのドアには 「おしりはぬいで、おしりかけにおかけください」というはりがみが。</p> |
| <p>『グリドングリドン』(Eミ)</p> <p>宮西 達也/作・絵 ひかりのくに</p> <p>ぐうたらなおうさまが、「グリドングリドン」とじゅもんをとなえると、ね がいごとがなんでもかなうドングリをてにいれました。</p> | <p>『ぼくのうた、なんだっけ？』(Eヨ)</p> <p>ヘンドリック ヨナス/作・絵 いしかわ もとこ/訳 偕成社</p> <p>はる。ことりたちのけっこんのきせつ。うたをうたって、あいてをさがし ます。それなのに、ちいさいことりは、じぶんのうたをわすれてしま ったのです。</p> |
| <p>『ピーマンのにくづめだったものはなし』(Eフ)</p> <p>若井 麻奈美/作 アリス館</p> <p>はたらきもののピーマンのにくづめ。おとどけものをはこぶため、は しっていたら、ころんでおなかのおにくがとびだしてしまい…。</p> | <p>『けっこんしき』(MEス)</p> <p>鈴木 のりたけ/作 フロンズ新社</p> <p>きょうは、めでたいけっこんしき。はなよめさんは、にっこりえがお。お でこにはめでたそぶえほん。</p> |
| <p>『おしっこちよっぴりもれたろう』(MEヨ)</p> <p>ヨシタケ シンスケ/作・絵 PHP研究所</p> <p>ぼくは、パンツにおしっこがちよっぴりもれちゃうから、いつもおかあさ んにおこられる。ぼくみたいにくまっているひと、ほかにもいるんじや ないかな。</p> | <p>『ときそば』(WEカ)</p> <p>川端 誠/[作] クレヨンハウス</p> <p>そばをうまそうにたいらげたおとこ、さてかんじょうとなり、こぜにを1 まいずつだしていく。「…6つ、7つ、8つ、いまなんどきだい？」</p> |

★いろいろなほなし

| シリーズのほん | |
|---|---|
| <p>『ジャッキーのゆめ』(Eア)</p> <p>あだち なみ/絵 あいはら ひろゆき/文 ブロンズ新社</p> <p>おにいちゃんたちがジャッキーに、「おとなになったら、なにになりたい？」とききました。ジャッキーは、やりたいものがいっぱい、こまっていますました。</p> | <p>『ねずみくんのプレゼント』(Eウ)</p> <p>なかえ よしを/文 上野 紀子/絵 ポプラ社</p> <p>きょうは、ねみちゃんのたんじょうびです。ねずみくんは、だいすきなねみちゃんに、おおきなおおきなふうせんをプレゼントしました。</p> |
| <p>『そらのたび』(Eク)</p> <p>工藤 ノリコ/[作] ブロンズ新社</p> <p>ペンギンのきょうだい、おねえちゃん、ペンちゃん、ギンちゃんは、そらのたびにでかけます。ひこうきにのるのは、はじめてです。</p> | <p>『あひるのたまご』(Eサ)</p> <p>さとう わきこ/さくえ 福音館書店</p> <p>ばばあちゃんがおなかをかかえてかえってきて、ベッドにはいったのをみた、こいぬとこねこはおおさわぎ。「ばばあちゃん、びょうきなのかな？」</p> |
| <p>『バムとケロのにちようび』(Eシ)</p> <p>島田 ゆか/作・絵 文溪堂</p> <p>あめのにちようび。ケロはそとでどろんこあそび。バムはへやをかたづけて、おかしをつくってほんをよもうとおもったけれど・・・。</p> | <p>『そらまめくんのぼくのいちにち』(Eナ)</p> <p>なかや みわ/さく 小学館</p> <p>そらまめくんは、きょうもふわふわのベッドで、きもちよくめをさました。たんぼぼのたねをみつけて、いいことをおもいつきました。</p> |
| <p>『11びきのねことぶた』(Eバ)</p> <p>馬場 のぼる/著 こぐま社</p> <p>11びきのねこはいっけんのいえをみつけ、かってにすみはじめました。そこに、「ここは、ぼくのおじさんのいえだ」というぶたがやってきました。</p> | <p>『リサとガスパールにほんへいく』(Eハ)</p> <p>アン グットマン/ぶん オルグ ハレンスレーベン/え 石津 ちひろ/やく ブロンズ新社</p> <p>リサは、かぞくりょうごうでにほんにいくことになりました。ガスパールもいっしょです。ひこうきでにほんにつくと、タクシーでホテルへいきました。</p> |
| <p>『おさるのジョージアイスクリューだいすき』(Eレ)</p> <p>M.レイ/原作 HALレイ/原作 福本 友美子/訳 モニカ ベレス/文 メアリー オキーフ ヤング/画 岩波書店</p> <p>あるなつのあついひ、チラン、チランとアイスクリューやさんのくるまがやってきました。ジョージはいてもたってもいられず・・・。</p> | <p>『10びきのかえる』(Eナ)</p> <p>間所 ひさこ/さく 仲川 道子/え PHP研究所</p> <p>いたずらぼうずにつかまってコンクリートのいけにいれられた10びきのおたまじゃくし。「かえるになったら、みんなでひょうたんぬまへ、かえろう！」</p> |
| <p>『せとうちたいこさんふじさんのぼりタイ』(Eナ)</p> <p>長野 ヒデ子/さく 童心社</p> <p>なんでもやってみたいタイのおかあさん、せとうちたいこさん。たいこさんは、「ふじさんとともだちになりたーい」と、ふじさんまでやってきました。</p> | <p>『ルラルさんのぼうえんきょう』(Eイ)</p> <p>いとう ひろし/作 ポプラ社</p> <p>ほしのきれいなよる、ルラルさんは、ぼうえんきょうをのぞきます。よぞらのほしをながめていたら、ぼうえんきょうにおそろしいかおがのぞいています。</p> |
| <p>『14ひきのこもりうた』(Eイ)</p> <p>いわむら かずお/さく 童心社</p> <p>ぼくらはみんなで14ひきかぞく。ゆうがたです。おふろにはいって、ゆうしよくのシチューをたべて、そろそろねるじかん。こもりうたもながれて・・・。</p> | <p>『ぶたのたね』(Eサ)</p> <p>佐々木 マキ/作・絵 絵本館</p> <p>はしるのがとてもおそいおおかみがあった。どんなにおそいかというと、ぶたよりもおそい。だから、まだいちどもぶたをつかまえたことがない。</p> |
| <p>『へんしんテスト』(Eア)</p> <p>あきやま ただし/作・絵 金の星社</p> <p>せんせいが「へんしんテストをやります」といいました。ことばをなんどもくりかえしてよむと、なぜかみんなへんしんしちゃう、ふしぎなことばあそびえほん。</p> | <p>『ころわんのおるすばん』(Eク)</p> <p>間所 ひさこ/作 黒井 健/絵 ひさかたチャイルド</p> <p>おかあさんがおでかけして、ころわんはひとりで、おるすばんすることになりました。ころわん、ちゃんとおるすばんできるかな？</p> |

| ちよっとふしぎなほん | |
|--|--|
| <p>『そらの100かいだてのいえ』(Eイ)</p> <p>いわい としお/[作] 偕成社</p> <p>ゆきのなかで、ひまわりのたねをみつけた、シジュウカラのツビくん。はなをさかせて、たねをふやそうと、そらへとびたちます。</p> | <p>『ぶららんこ』(Eス)</p> <p>鈴木 のりたけ/作・絵 PHP研究所</p> <p>ぶらんこにのってたら、ぶたがのってきて、「ぶららんこ」に。もう1びきのってたら、「ぶららんこ」になっちゃった！どンドンぶたがのってきて…。</p> |
| <p>『しろくまのパンツ』(TEツ)</p> <p>tupera tupera/作 ブロンズ新社</p> <p>パンツがみあたらず、こまっているしろくまさん。ねずみさんがやってきて、いっしょにさがしにいくことに。めくってたのしい、あなあきしかけえほん。</p> | <p>『いちにちぶんぼうぐ』(Eカ)</p> <p>ふくべ あきひろ/さく かわしま ななえ/え PHP研究所</p> <p>クリップ、じしゃく、メジャーやホッチキス。ぶんぼうぐって、かしこそうだな。よし、いちにち、ぶんぼうぐになってみよう！</p> |
| <p>『りんごかもしれない』(Eヨ)</p> <p>ヨシタケ シンスケ/作 ブロンズ新社</p> <p>がっこうからかえってきたら、テーブルのうえにりんごが置いてあった。…でも…もしかしたら、これはりんごじゃないのかもしれない。</p> | <p>『ぜったいにおしちやダメ？』(MEコ)</p> <p>ビル コッター/さく サンクチュアリ出版</p> <p>ぼくのなまえはラリー。このえほんには1つだけルールがあるんだ。それは、ぼくのよこにある、このあかいボタンをおしちやダメ、ということ。できるかな？</p> |
| <p>『ぜったいあけちやダメ！』(Eマ)</p> <p>アンディリー/作 ヒース マッケンジー/絵 林 木林/訳 永岡書店</p> <p>いいかい、きみ。このえほんは、めくっちゃダメ！うわああ、なんでめくるんだよおおお？めくっちゃダメって、はっきりいったよね。こらあ！</p> | <p>『えがないえほん』(Eノ)</p> <p>B.J./ヴァク/さく おおとも たけし/やく 早川書房</p> <p>このほんのルールをせつめいします。かかれていることばは、ぜんぶこえにだしてよむこと。なにがあっても。ということは…こんなことばでも…。</p> |
| <p>『お～しまい！…かな？』(Eベ)</p> <p>ジム ベントン/さく 中井 はるの/やく 岩崎書店</p> <p>あいさつをしようとした、クマのドーナツくん。でも、ゲップしてしまい、「そんなにおぎょうぎわるいこは、もう、おわり。お～しまい！」といわれてしまいます。</p> | <p>『おおかみだあ！』(Eブ)</p> <p>セドリック ラマディエ/ぶん ヴァンサン ブルジョ/え たにかわしゅんたろう/やく ポプラ社</p> <p>もりのほうからおおかみがくる。ページをめくって、おいはらうんだ！ちかづいてくる！いそいでほんをみぎにかたむけて！</p> |
| <p>『ここからだしてくれ～！』(Eブ)</p> <p>セドリック ラマディエ/ぶん ヴァンサン ブルジョ/え たにかわしゅんたろう/やく ポプラ社</p> <p>さんぼしていたら、でっかいあなのそこに、こどもがいたんだ！おれは、あなにとびこんだ！えほんをかたむけて、おおかみをたすけてあげよう。</p> | <p>『ふって！ふって！パニー』(Eル)</p> <p>クラウド アルエダ/さく 二宮 由紀子/やく フレーベル館</p> <p>えほんのなかのパニーが、スキーをしたいといっています。でも、ゆきがありません。ほんをふって、ゆきをふらせてみましょう。</p> |
| <p>『ふしぎなふしぎなまほうの木』(Eマ)</p> <p>クリスティ マシソン/作 大友 剛/訳 ひさかたチャイルド</p> <p>いっぽんのきがあります。このきには、ふしぎなちからがやどっています。きのえだに、そっとさわってごらん。そしてページをめくってみると…。</p> | <p>『さわってごらん！よるの星』(Eマ)</p> <p>クリスティ マシソン/作 大友 剛/訳 ひさかたチャイルド</p> <p>こんいろのそらがおりてきて、おひさまにさよならをする。まいにちおとずれるきせきのじかん。やさしくホテルにさわってみて。そしてページをめくると…。</p> |
| <p>『ともだちタワー』(Eシ)</p> <p>ケルスティン シューネ/文・絵 佐藤 淑子/訳 バイインターナショナル</p> <p>そらをとべない、ちいさなペンギン。ペンギンのねがいをかなえるために、どうぶつたちは、いいことをおもいついて…。</p> | <p>『ぱんつさん』(TEタ)</p> <p>たなか ひかる/作 ポプラ社</p> <p>ふしぎなぱんつさんのせかいへ、ようこそ！いろいろなぱんつをはいた、ぱんつさんたちが、じゅんびたいそうをしているよ。</p> |

| まなべるほん | |
|--|--|
| <p>『はじめてのほしぞらえほん』(WEテ)</p> <p>てづか あけみ/え 村田 弘子/ぶん・デザイン 渡部 潤一/監修 斎藤 紀男/監修 バイインターナショナル</p> <p>ほしのうごきやきより、てんたい、すいせいとながれほしなどをわかりやすくしようかい。うちゅうのふしぎをよりふかくりかいできるえほん。</p> | <p>『ぼくはうちゅうじん』(Eハ)</p> <p>中川 ひろたか/ぶん はた こうしろう/絵 アリス館</p> <p>ちきゅうもほしなの？うちゅうに、ほしはいくつあるの？ちきゅうからうちゅうへ、ゆめをひろげることもたちにおくるえほん。</p> |
| <p>『せいめいのれきし』(Eバ)</p> <p>バージニアリー パートン/文・絵 いしい もこ/訳 まなべ まこと/監修 岩波書店</p> <p>ちきゅうは、46おくんもののおおむかしにうまれました。ちきゅうじょうにせいめいがうまれたときからいままでのおはなしを、イラストとともにしようかい。</p> | <p>『のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト』(Eミ)</p> <p>三輪 一雄/作・絵 借成社</p> <p>ぜつめつしてしまつたアンモナイト。いまもしんかいでいきつづけているオウムガイ。ふたつのせいぶつのせいたいとしんかのれきしをときあかします。</p> |
| <p>『とりになつたきょうりゅうのはなし』(Eオ)</p> <p>大島 英太郎/さく 福音館書店</p> <p>いきのこつたわずかなきょうりゅうは、とりにすがたをかえて、いまもいきているのです。きょうりゅうは、どのようにして、とりにすがたをかえたのでしょうか？</p> | <p>『きょうりゅうのおおきさつてどれくらい？』(Eオ)</p> <p>大島 英太郎/さく 福音館書店</p> <p>もし、きょうりゅうがいまでもいきていたら、おおきさはどれくらいかなあ？こうえんに、トリケラトプスがいたら、ジャングルジムとおなじくらいのおおきさだよ。</p> |
| <p>『アニマルズ』(TEア)</p> <p>エマ ドッズ/ぶん マーク アスピナル/え 福岡 伸一/やく ポプラ社</p> <p>ワニはしぬまでせいちょうしつづける。タコのちはあおい。どうぶつやこんちゅうたちにまつわる、おもしろいことを、イラストとともに120こしようかい。</p> | <p>『たのしいクジラのかいかた』(Eタ)</p> <p>たがわ ひでき/え さいとう まさる/かんしゅう 学研教育出版</p> <p>どうぶつえんのどうぶつたちは、なにをたべるの？がっこうでのかいかたをとおして、どうぶつのせいたいやにんげんとのちがいをつたえるえほん。</p> |
| <p>『しっぽのはたらき』(WEヤ)</p> <p>川田 健/ぶん 藪内 正幸/え 今泉 吉典/監修 福音館書店</p> <p>どうぶつのしっぽにはどんなはたらきがあるのでしょうか？さまざまなどうぶつのしっぽが、どんなはたらきをしているのかをつたえます。</p> | <p>『どうなってるの？どうぶつの歯』(WEヨ)</p> <p>(海の生きもの編) 鈴木 勝/さく 鈴木 貴博/さく 吉田 葉子/え はる書房</p> <p>アシカ、ラッコ、ジュゴン……。さまざまなうみのいきもののはをしようかいしながら、はのやくわりやたいせつさをつたえます。</p> |
| <p>『あさがお』(Eア)</p> <p>荒井 真紀/文・絵 金の星社</p> <p>あさがおのはなは、あさにしかさきません。ひるにはしぼんでしまい、そのはなはもうさくことはないのです。でも、はなのさいたあとにはつづきがあつて…。</p> | <p>『まっかつかトマト』(WEイ)</p> <p>いわさ ゆうこ/さく 童心社</p> <p>トマトのきに、ちっちゃい、まあるいみがついた。せかいじゅうのしよくたたくかかせないトマトのみりよくをつたえるおいしいやさいのえほん。</p> |
| <p>『うどん』(WEユ)</p> <p>深山 さくら/ぶん ゆーち みえこ/え 高屋 友明/監修 チャイルド本社</p> <p>うどんやさんのうどんのつくりかたや、れきし、いろいろなたべかたなど、つるつるもちもちな、うどんのひみつを、うどんちゃんがおしえます。</p> | <p>『新幹線のたび』(TEコ)</p> <p>コマヤスカン/作 講談社</p> <p>「しんあおもりえき」から「かごしま」まで、しんかんせんをのりついでいきます。にほんじゅうのみどころがわかるえほん。</p> |
| <p>『かわ』(TEス)</p> <p>鈴木 のりたけ/著 幻冬舎</p> <p>はくりよくのあるえで、にほんのかわのゆたかさ、そこにすむいきものたちを、みずとさかなのしんで、しようかい。</p> | <p>『1日10分でちずをおぼえる絵本』(WEア)</p> <p>あきやま かぜさぶろう/著 白泉社</p> <p>1にちたつた10ぶん。にほんのどうふけんをおぼえよう！えいのかたちは、ほっかいどう。ほっかいどうは、どこにあるかな？たのしいちずのえほん。</p> |

★ファンタジー

| おばけ・ようかい | |
|---|---|
| <p>『おばけ、がっこうへいく』(MEデ)</p> <p>ジャック デュケノフ/さく おおさわ あきら/やく ほるぶ出版</p> <p>おばけのがっこうにいてみよう！じゅぎょうは、ものをうごかすれんしゅうに、「とうめいおばけ」になるれんしゅう。</p> | <p>『ノラネコぐんだん おばけのやま』(EK)</p> <p>工藤 ノリコ/著 白泉社</p> <p>だんごやさんにしのびこみ、かってにおだんごをつくってたべようとしたノラネコぐんだん。だけど、おだんごがかぜにまかれてとばされてしまいました。</p> |
| <p>『おばけのぼむけ』(Eサ)</p> <p>佐々木 マキ/作・絵 教育画劇</p> <p>せんすをさがしているうちに、おばけのまちへまよいこんでしまったきのこ。そこへ、おばけのぼむけがちかづいてきました。</p> | <p>『なきむしおばけ』(Eナ)</p> <p>なかの ひろたか/さく・え 福音館書店</p> <p>おにいちゃんとおもちやをとりあつた、くんちゃん。おこったおにいちゃんをみて、くんちゃんは、めになみだがあふれてきた。すると、だれかが…。</p> |
| <p>『おばけのパンこうじょう』(Eオ)</p> <p>オームラトモコ/作 理論社</p> <p>ここは、おばけのパンこうじょう。ばけやまかよこさんはしんじんなので、きょうはこうじょうけんがくです。</p> | <p>『七福おばけ団』(Eオ)</p> <p>大島 妙子/作 童心社</p> <p>おんぼろアパートをおいだされた7にのみなしごおばけたちは、テッペンやまのてっぺんにある「やまごやゴエモン」にすむことに。</p> |
| <p>『お化けの猛暑日』(Eカ)</p> <p>川端 誠/作 BL出版</p> <p>きょうは、もうしょび。おばけやしきのおばけたちは、みんなパテパテです。すずしいあめをふらせてもらいたいとかんがえたおばけたちは…。</p> | <p>『やねうらべやのおばけ』(Eシ)</p> <p>しおたに まみこ/[作] 偕成社</p> <p>ながいこと、やねうらべやで、ひとりたのしく、くらししてきたおばけ。そこにあるときから、ちいさなおんなのこがやってくるようになりました。</p> |
| <p>『おばけのぺろぺろ』(Eニ)</p> <p>乾 栄里子/さく 西村 敏雄/え フレーベル館</p> <p>おばけのぺろぺろがうたうのは、うたにでてきたものが、ほんものになる、ヘンテコなうた。まちやこうえんにやってきては、みんなをおどろかすのですが…。</p> | <p>『おばけおばけおばけ！！』(Eオ)</p> <p>おざわ よしひさ/作・絵 岩崎書店</p> <p>ティッシュをひっぱりだして、へやじゅうをちらかすと、ティッシュのはこから、しろくてこわいおばけがでてくるぞー！</p> |
| <p>『10びきのおばけのたんじょうび』(Eニ)</p> <p>にしかわ おさむ/作・絵 ひかりのくに</p> <p>「おたんじょうびは、いつなの？」ときかれた、10びきのおばけたちは、こたえることができなかった。そこで、いろいろなひとにきいてみることに…。</p> | <p>『おばけがふくをなくしたら』(MEボ)</p> <p>シャルル ルブレヴォ/文 カミーユ ポメロ/絵 ふしみ みさを/訳 光村教育図書</p> <p>おばけのヒュルンとドロンが、もりでかくれんぼをしているとき、とつぜんつよいかぜがふき、ドロンのふくをふきとばしてしまいました。</p> |
| <p>『ようかいえんのなつまつり』(Eシ)</p> <p>白土 あつこ/作・絵 ひさかたチャイルド</p> <p>ばけだぬきのばけは、ようかいえんのみんなと、こんこんじんのやおまつりにでかけます。おまつりは、ようかいたちでおおにぎわい。</p> | <p>『妖怪バス旅行』(Eヒ)</p> <p>広瀬 克也/作 絵本館</p> <p>きょうは、ようかいよこちようのバスりょこうです。ひだりてをごらんください。あちらに見えるのがかいぶつマンションです。どこへいくのかな～。</p> |
| <p>『ようかいりょうりばんづけ』(Eサ)</p> <p>澤野 秋文/作 佼成出版社</p> <p>とうふこぞう、ざしきわらし、すねこすりは、にんげんのまちで、ようかいのみのあじをさがしては、りょうりばんづけにのせています。</p> | <p>『江戸の妖怪一座』(TEア)</p> <p>青山 邦彦/作・絵 フレーベル館</p> <p>えどのさびれたみせものごや。やくしゃがやめていき、ざちょうはひとりぼっちに。そこへ、こどもがあらわれて、げいをさせてほしいというのですが…。</p> |

| おに | |
|---|---|
| <p>『なきむしおにのオニタン』(Eフ)</p> <p>上野 与志/作 藤本 四郎/絵 ひさかたチャイルド</p> <p>いつもなくてばかりの、おにのこ、オニタン。なきむしをなおすため、オニタンは、にんげんのくにへやってきました。</p> | <p>『おにのおふろや』(Eリ)</p> <p>苅田 澄子/作 リとう ようい/絵 鈴木出版</p> <p>そうたのうちのおふろがこわれ、じいちゃんとおふろやさんにいくことに。おふろやさんのなまえは、「おにのゆ」。</p> |
| <p>『オニのきもだめし』(Eオ)</p> <p>岡田 よしたか/作 小学館</p> <p>くら〜いよみちに、あかオニがふたり、いえじをいそいでおりました。そんなオニたちのゆくてにまちかまえているのは、ひとだま、ユウレイ、ガイコツ…。</p> | <p>『オニのサラリーマン』(Eオ)</p> <p>富安 陽子/文 大島 妙子/絵 福音館書店</p> <p>おとうちゃんのなまえは、オニガワラ・ケン。じごくづめのサラリーマンだけど、しごとは、とってもたいへんそう。</p> |
| <p>『ケンカオニ』(Eニ)</p> <p>富安 陽子/文 西巻 茅子/絵 福音館書店</p> <p>のぶちゃんがなげたボールがとっちんのせなかにあたったことから、とっちんのあたまにあかいケンカオニがくっつきました。</p> | <p>『じごくにアイス』(Eサ)</p> <p>ナカオ マサトシ/作 澤野 秋文/絵 ひさかたチャイルド</p> <p>バナナのかわであしをすべらせて、ころんで、きをうしなってしまったアイスやさんのこたろうは、きがつくと、みたこともないかわぎしにいました。</p> |
| <p>『きょだいながチャガチャ』(Eオ)</p> <p>大橋 慶子/作・絵 教育画劇</p> <p>おちてきた、きょだいなボールをおとこのこがやまのうえまではこんでいくと、おおきなオニのこたちが、きょだいながチャガチャであそんでいました。</p> | <p>『だれのパンツ?』(Eシ)</p> <p>シゲリ カツヒコ/作 KADOKAWA</p> <p>だんちのまえにあるこうえんであそんでいたタロウ。すると、あたまのうえに、おおきなパンツがおちてきた！だんちのひとがおとしたのかな？</p> |
| <p>『まゆとおに』(Eフ)</p> <p>富安 陽子/文 降矢 なな/絵 福音館書店</p> <p>やまんばのむすめ・まゆは、ぞうきばやしのおくで、つのはえたおおきなひとにいました。まゆはそのひとがおにだということをしりませんでした。</p> | <p>『おによりつよいおよめさん』(Eヨ)</p> <p>井上 よう子/作 吉田 尚令/絵 岩崎書店</p> <p>ひとりやまおくにすむおには、むらにおりてはわるさばかり。あるひ、めしたきやせんたくをしてくれるおよめさんがほしくなったおには…。</p> |
| <p>『鬼の首引き』(Eイ)</p> <p>岩城 範枝/文 井上 洋介/絵 福音館書店</p> <p>あるひ、わかものは おにとであい、おにのおにめさまとちからくらべをすることになりました。まけると、わかものは、たべられてしまいます。</p> | <p>『おにのふんどしちよいとぬえるかい』(Eチ)</p> <p>ちば えみこ/作 評論社</p> <p>ちいさなむらのおせつかいばあさんが、もちをのどにつまらせて、しんだ。あのよにいったばあさんは、えんまさまに、こごとをいいたした。</p> |
| モンスター・かいぶつ | |
| <p>『カラーモンスターがっこうへいく』(Eレ)</p> <p>アナレナス/さく おおとも たけし/やく 永岡書店</p> <p>きょうは、はじめてがっこうへいくひ。それなのに、カラーモンスターはがっこうがなんなのか、まったく知らないのです。</p> | <p>『シラユキさんとあみあみモンスター』(Eハ)</p> <p>アンネマリー ファン ハーリングゲン/作 野坂 悦子/訳 BL出版</p> <p>シラユキさんは、あみものがだいすき。いつもヤギのけいとのかつしたをあんでいます。かつしたじゃないものをあみたくなったシラユキさんは…。</p> |
| <p>『ゆうかんな3びきとこわいこわいかいぶつ』(Eア)</p> <p>スティーブ アントニー/作・絵 野口 絵美/訳 徳間書店</p> <p>リスのリックと、ハリネズミのハリーと、ハツカネズミのハックは、フードをかぶったかいぶつをさがしにきた。おそろしいってうわさだけど、みてみたい！</p> | <p>『怪物園』(Eジ)</p> <p>junaida/著 福音館書店</p> <p>かいぶつえんは、たくさんのかいぶつたちをのせて、ながいたびをつづけていました。あるよる、かいぶつえんから、かいぶつたちがぬけだし…。</p> |

★おとうさん・おかあさん

| | |
|---|--|
| <p>『おとうさんはしょうぼうし』(Eス)</p> <p>平田 昌広/作 鈴木 まもる/絵 佼成出版社</p> <p>ぼくのおとうさんは、しょうぼうし。きんむにでたら、まるまるいちにち、かえらない。にちようびだって、いつもやすめるわけじゃない。</p> | <p>『おとうさんのちず』(Eシ)</p> <p>ユリ シュルヴィッツ/作 さくま ゆみこ/訳 あすなろ書房</p> <p>せんそうで、なにもかもうしなつたぼくのかぞくは、とおひがしのくにまで、にげてきた。たべるものもたりになくて、おかねも、ほとんどなかった。</p> |
| <p>『おとうさんおかえり』(Eサ)</p> <p>マーガレット ワイズ ブラウン/文 スティーヴン サヴェッジ/絵 さくま ゆみこ/訳 ブロンズ新社</p> <p>よるになりました。さかなのおとうさんは、さらさらながれるかわをおよいで、こどもたちのところにかえってきます。</p> | <p>『おとうさんぼくおさかなつたよ!』(Eイ)</p> <p>いりやま さとし/著 佼成出版社</p> <p>まだ、そらにおほしさまがいる、あけがた。くまのぼうやは、おとうさんといっしょに、さかなつりにしゅっぱつしました。</p> |
| <p>『ミミとおとうさんのハッピー・パースデー』(Eハ)</p> <p>石津 ちひろ/さく 早川 純子/え 長崎出版</p> <p>おたんじょうびのケーキをつくることになったミミちゃん。はりきつたおとうさんがつれてきた、いがいななかまとは?</p> | <p>『おとうさん! おとうさん!』(Eミ)</p> <p>中川 ひろたか/さく ミスミ ヨシコ/え ポプラ社</p> <p>おとうさんおとうさん、おとうさん、わになのね。おんなのこがおとうさんにいいました。「いいよ」と、おとうさんは、わににへんしん。</p> |
| <p>『大きな大きな船』(Eハ)</p> <p>長谷川 集平/作 ポプラ社</p> <p>ふたりかぞくになったとうさんとむすこ。すれちがうふたりが、すこしずつところをかよいあわせ…。ちちとこのものがたり。</p> | <p>『とうちゃんなんかペーだ!』(Eイ)</p> <p>伊藤 秀男/作 ポプラ社</p> <p>とうちゃん、いっぱいあそぶっていったじゃないか。もっともっと、あそぶんだ! 「とうちゃんなんか、ペーだ!」そんなうしおくんのまえにあらわれたのは…?</p> |
| <p>『キツネのおとうさんがニコリわらっていいました』(Eミ)</p> <p>みやにし たつや/作・絵 金の星社</p> <p>キツネのおとうさんはブタをつかまえにやってきたのですが、きのほりをしているコブタをおもわずたすけてしまつて…。</p> | <p>『おとうさんはウルトラマン』(Eミ)</p> <p>みやにし たつや/作・絵 円谷プロダクション/監修 学研</p> <p>ウルトラマンがだいすきだったこどもがおとうさんになって。いっしょうけんめいでまじめでぶきょうなウルトラ・パパのこそだてえにつき。</p> |
| <p>『おかあさんのおべんとう』(Eタ)</p> <p>たるいし まこ/作 童心社</p> <p>マミちゃんのおかあさんは、ときどきわすれんぼうで、ねぼすけ。でも、とびきりたのしいことを、かんがえるのがとくいです。</p> | <p>『おかあさん、すごい!』(Eス)</p> <p>スギヤマ カナヨ/著 赤ちゃん mamma 社</p> <p>おかあさんって、どうしてりょうりやおさいほうがじょうずなの? どうしていろんなことをしてるの? どうしてだとおもう?</p> |
| <p>『おかあさんの顔』(Eブ)</p> <p>ロディドイル/文 フレヤ ブラックウッド/絵 石津 ちひろ/訳 フレーベル館</p> <p>ちいさなころに、おかあさんをなくしてしまったシボーン。てのぬくもりやこえはよくおぼえているのに、かおをおもいだすことができません。</p> | <p>『おかあさんになるってどんなこと』(Eナ)</p> <p>内田 麟太郎/文 中村 悦子/絵 PHP研究所</p> <p>ウサギのミミちゃんはいきょうはモコちゃんのおかあさんです。「おかあさんになるってどんなこと」とターくんがききました。</p> |
| <p>『うちのおかあさん』(Eム)</p> <p>谷口 國博/文 村上 康成/絵 世界文化社</p> <p>いろんなものにへんしんするうちのおかあさんはきれいで、いつもげんき。なのに、あるひ、かぜをひいてねこんでしまつて…。</p> | <p>『おかあさん、げんきですか。』(Eタ)</p> <p>後藤 竜二/作 武田 美穂/絵 ポプラ社</p> <p>さくぶんのじかん、おかあさんにてがみをかくことになりました。おもいきっていいたいことをかきます。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>『コレットちゃんはおかあさん』(Eセ)</p> <p>フランソワーズ/さく・え ないとうりえこ/やく 徳間書店</p> <p>コレットちゃんは、あるひ、どうぶつたちのおかあさんになることにしました。ひとりてくらすコレットちゃんは、さびしかったのです。</p> | <p>『おかあさんがおかあさんになった日』(Eナ)</p> <p>長野 ヒデ子/さく 童心社</p> <p>あなたがうまれたひのこと。おかあさんはきたいとふあんのなか、はじめてあかちゃんをうんだひ、おかあさんに。</p> |
|--|--|

★おじいちゃん・おばあちゃん

| | |
|--|--|
| <p>『おじいちゃんのごらくごらく』(Eハ)</p> <p>西本 鶏介/作 長谷川 義史/絵 鈴木出版</p> <p>ゆうたはおじいちゃんがだいすきでした。いっしょにおんせんにいくのをたのしみにしていたのに、おじいちゃんはびょうきでにゆういんしてしまいました。</p> | <p>『がんばれ、おじいちゃん』(Eト)</p> <p>西本 鶏介/作 柄堀 茂/絵 ポプラ社</p> <p>こうくんのおじいちゃんが、にゆういんしてしまいました。こうくんは、おじいちゃんをはげますにはどうしたらいいか、かんがえて…。</p> |
| <p>『チャーリー、おじいちゃんにあう』(Eオ)</p> <p>エイミー ヘスト/ぶん ヘレン オクセンバリー/え さくま ゆみこ/やく 岩崎書店</p> <p>ヘンリーとこいぬのチャーリーはおじいちゃんをえきにむかえにいった。おじいちゃんとチャーリーはともだちになれるかな？</p> | <p>『おじいちゃんとのやくそく』(Eマ)</p> <p>石津 ちひろ/文 松成 真理子/絵 光村教育図書</p> <p>のぞみは、ちいさなころから、おじいちゃんとだいのなかよし。でも、おじいちゃんをはてんごくへたびだっしてしまい、のぞみはかなしくてたまりません。</p> |
| <p>『おじいちゃんのとびじたく』(Eソ)</p> <p>ソヨン/文・絵 斎藤 真理子/訳 小峰書店</p> <p>あるひずかなおじいちゃんのうちにおきやくさまがやってきました。ずいぶんおそいじかんです。トントン。ドアのおとがします。</p> | <p>『おじいちゃんちのたうえ』(Eサ)</p> <p>さこ ももみ/作 講談社</p> <p>しょうたろうのかぞくは、まいとしたうえのきせつになると、おじいちゃんはいえにいて、たうえのおてつだいをします。</p> |
| <p>『うちのおじいちゃん』(Eム)</p> <p>谷口 國博/文 村上 康成/絵 世界文化社</p> <p>おじいちゃんのくるまはおんぼろでとてもゆっくり。それでも、おじいちゃんにはこにこしながらうんでんしています…。</p> | <p>『ゆうたのおじいちゃん』(MEキ)</p> <p>きたやま ようこ/さく あかね書房</p> <p>おれとおなじいろのかみのおじいちゃん、おれみると、さんぽにささう。ゆうたくんちのいばりいぬと、おじいちゃんのはなし。</p> |
| <p>『おばあちゃんとおんなじ』(Eナ)</p> <p>なかざわ くみこ/[作] 偕成社</p> <p>なっちゃんは、おじいちゃんからいつも、「おばあちゃんによくしてるなあ」といわれます。わたしって、おばあちゃんみたいなかおなのかなあ？</p> | <p>『すずおばあさんのハーモニカ』(Eク)</p> <p>あまん きみこ/作 黒井 健/絵 ひさかたチャイルド</p> <p>すずおばあさんがハーモニカをふいていると、どこからかおなじハーモニカのおとが…。いったいだれがふいているのでしょうか？</p> |
| <p>『つぎはぎおばあさん きょうもおおいそがし』(Eタ)</p> <p>たかしま なおこ/作・絵 講談社</p> <p>ちいさないえでくらしながら、だいすきなぬいものをしているおばあさん。こどもたちやなくなったおじいさんのぬのをつぎはぎしていましたが…。</p> | <p>『おばあちゃんからライオンをかくすには』(Eス)</p> <p>ヘレン スティーヴンズ/作 さくま ゆみこ/訳 ブロンズ新社</p> <p>アイリスはライオンとくらししています。あるとき、おばあちゃんがとまりにくることになりました。さあ、たいへん。ライオンをかくしておかないと。</p> |
| <p>『おばあちゃんすごい！』(Eム)</p> <p>中川 ひろたか/文 村上 康成/絵 童心社</p> <p>「ひろたかなり」というこをさがしてほいくえんにやってきたおばあちゃん。そんなこはいないけれど、おてだま、けんだま、なにをやってもうまいのです。</p> | <p>『おばあちゃんのコもりうた』(Eナ)</p> <p>西本 鶏介/作 長野 ヒデ子/絵 ひさかたチャイルド</p> <p>すずちゃんはおばあちゃんがだいすき。きょうのおばあちゃんがかぜをひいてねつがあるみたい。すずちゃんはいっしょうけんめいかんばようします。</p> |

★おつきさま

| | |
|--|--|
| <p>『おつきさまのおさんぽ』(Eカ)</p> <p>カワチ レン/作・絵 学研プラス</p> <p>おつきさまがおりてきて、まちをおさんぽ。おつきさまがとおると、ひるも、くるまも、みんなわくわくうれしくて、ぴかぴかきいろにひかりだします。</p> | <p>『かぜをひいたおつきさま』(TEチ)</p> <p>レオニート チシコフ/作・絵 鴻野 わか葉/訳 徳間書店</p> <p>かぜをひいたおつきさまを、イワンさんがいえでかんびょうしてくれました。みっかたち、おつきさまは、そらにもどろうとしましたが…。</p> |
| <p>『だんごたべたいおつきさま』(MEナ)</p> <p>すとう あさえ/ぶん 中谷 靖彦/え ほるぷ出版</p> <p>きょうは、おつきみです。そらには、まんまるおつきさま。おばあちゃんのえんがわには、まんまるおだんごがおいてあります。</p> | <p>『お月さんのシャーベット』(Eペ)</p> <p>ベクヒナ/作 長谷川 義史/訳 ブロンズ新社</p> <p>あつくてねぐるしいよる。あつすぎて、ついに、おつきさんがとけだした。おばあちゃんはたらいにしずくをうけとめ、シャーベットをつくり…。</p> |
| <p>『おつきさまはいちねんせい』(Eダ)</p> <p>きたやま ようこ/文 アンドレ ダーハン/絵 講談社</p> <p>しょうがっこうににゆうがくしたおつきさま。すぐにもだちができるかとおもっていたのに、そうはならなくて、がっかり。</p> | <p>『はずかしがりやのおつきさん』(ES)</p> <p>スズキ コージ/さく・え 福音館書店</p> <p>つきがのはらをてらしているよる、うまのロシナンテがてがみをかいていました。ねていたギューリーちゃんも、ねこのダイナめをさましてしまい…。</p> |
| <p>『お月さまってどんなあじ?』(TEグ)</p> <p>ミヒヤエル グレイニェク/絵と文 いずみ ちほこ/訳 セーラー出版</p> <p>おつきさまってどんなあじなんだろう。あまいのかな、しょっぱいのかな。ほんのひとくちたべてみたいね。</p> | <p>『パパ、お月さまとって!』(Eカ)</p> <p>エリック=カール/さく もり ひさし/やく 偕成社</p> <p>「パパ、おつきさまとって!」とむすめのモニカにせがまれたパパは、ながいはしごをのぼっておつきさまにあいこきます。</p> |
| <p>『おつきさまってなあに?』(Eコ)</p> <p>スティーブン アクセル アンダーソン/文 グレッグ カウチ/絵 木坂 涼/訳 ソニー・マガジズ</p> <p>キツネ、ミズアオガ、カエル、ネズミ、フクロウ。それぞれのおもうつきがちがうことにきづいて、おおさわぎ。はかせにきいてみることにしたのですが…。</p> | <p>『おつきさまこっちむいて』(Eカ)</p> <p>片山 令子/ぶん 片山 健/え 福音館書店</p> <p>ほそい、ほそい、おつきさま。おとこのこが、いろんなかたちのおつきさまと、いろんなところであうようすをえがいたえほん。</p> |
| <p>『ぼく、おつきさまがほしいんだ』(TEキ)</p> <p>ジョナサン エメット/文 ヴァネッサ キャパン/絵 おびか ゆうこ/訳 徳間書店</p> <p>はじめておつきさまをみたモグラくんは、おつきさまをじぶんのものにしたくてたまりません。つきがとおくにあるときいても、あきらめられず…。</p> | <p>『ぼく、お月さまとはなしたよ』(EA)</p> <p>フランク アッシュ/えとぶん 山口 文生/やく 評論社</p> <p>くまくんはおつきさまをみて、たんじょうびのおくりものをあげたいなとおもった。でも、たんじょうびはいつかな?なにをあげたらいいのかな?</p> |
| <p>『ながいよるのおつきさま』(Eシ)</p> <p>シンシア ライラント/作 マーク シーゲル/絵 渡辺 葉/訳 講談社</p> <p>むかしひとびとは、そらにうかぶおつきさまにひとつきごとのなまえをつけました。1がつはあらしのおつきさま。</p> | <p>『きょうはそらにまるいつき』(EA)</p> <p>荒井 良二/著 偕成社</p> <p>あかちゃんがそらをみえています。きょうはそらにまるいつき。バレエのれんしゅうがおわって、おんなのこがバスでかえります。きょうはそらにまるいつき。</p> |
| <p>『おつきさんのぼうし』(EK)</p> <p>高木 さんご/文 黒井 健/絵 講談社</p> <p>おつきさんは、ぼうしやにたくさんのひとがぼうしをかいにくるのをみていました。おつきさんは、おじいさんのつくるぼうしがどうしてもほしくなり…。</p> | <p>『もしきみが月だったら』(EK)</p> <p>ローラ パーディ サラス/文 ジェイミー キム/絵 木坂 涼/訳 光村教育図書</p> <p>つきのうごきやとくちょうを、ユーモラスなたとえとかがくてきなせつめいでしょうかいする、たのしいかがくえほん。</p> |

★くま

| | |
|--|--|
| <p>『くまくまパン』(Eニ)</p> <p>西村 敏雄/作 あかね書房</p> <p>パンやのくまさんとしろくまさんが、おすすめのパンをめぐっておおげんか。そこへ、かばのおうさまがやってきて…。</p> | <p>『いぬとくまいつもふたりは』(Eシ)</p> <p>ローラ ヴァッカロ シーガー/作 落合 恵子/訳 クレヨンハウス</p> <p>いぬとくまはすてきなともだち。ときどきひとりになりたくなるけど、やっぱりふたりがだいすき！ユーモラスであっかいおはなし。</p> |
| <p>『くまのこミンのおうち』(EA)</p> <p>あいはら ひろゆき/文 あだち なみ/絵 講談社</p> <p>くまのこミンは、ふたりのおにいさんと3にんでしあわせにくらしています。きょうはたのしみになっていたピクニック。</p> | <p>『くまときつね』(EI)</p> <p>いもと ようこ/文・絵 金の星社</p> <p>むかしむかし、やまにたべものがないとしががありました。きつねとくまは、はたけをつくって、やさいをつくることにしました。</p> |
| <p>『まねっこくまくん』(EU)</p> <p>リチャード エドワーズ/作 スーザン ウィンター/絵 おびか ゆうこ/訳 PHP研究所</p> <p>まねっこくまくんは、いつもおかあさんぐまのまねばかりしています。ふゆがちかづき、おかあさんぐまとほらあなへかえることになったのですが…。</p> | <p>『アマンダとくまの子』(Eチ)</p> <p>ターシャ テューダー/著 ないとう りえこ/やく メディアファクトリー</p> <p>アマンダは、くまのこをペットにしているおんなのこです。「アダム」とよぶと、くまのこはかわいいしぐさをします。ふたりはなかよし。</p> |
| <p>『3びきのくま』(EG)</p> <p>ポール ガルドン/作 ただ ひろみ/やく ほるぷ出版</p> <p>もりのなかのいえでなかよくくらす3びきのくま。あるあさ、3びきのくまは、あさごはんのおかゆがさめるまでさんぼにいくことに。ところが…。</p> | <p>『くまのコールテンくん』(EF)</p> <p>ドン=フリーマン/さく まつおか きょうこ/やく 備成社</p> <p>おもちゃうりばのつりひものボタンがとれたくまのおにんぎょう、コールテンくんをかっていこうとするひとはだれもいません。</p> |
| <p>『おじゃまなクマのおいだしかた』(EG)</p> <p>エリック バインダー/さく ステファニー グラエギン/え 三辺 律子/やく 岩崎書店</p> <p>あるさむいひ、トーマスは、クッションやもうふで、ほらあなをつくりました。でも、ほらあなをクマにのっとられたら、どうしたらいいでしょう？</p> | <p>『くまさんははずかしがりや』(EM)</p> <p>むとう のりこ/作・絵 教育画劇</p> <p>はずかしがりやのくまさんは、みんなとおともだちになりたいとおもっているけれど、こえをかけられても「ハズカシイ！」とにげてしまいます。</p> |

★とら

| | |
|--|---|
| <p>『とらさんおねがいおきないで』(ET)</p> <p>ブリッタ テッケントラップ/作・絵 木坂 涼/訳 ひさかたチャイルド</p> <p>とらさんがねむってるよ。ぜったいおこしちやだめだよ。でも、かえるくんたちはふうせんをもって、とらさんのむこうへいかなくちやいけなさんだ。</p> | <p>『たいくつなトラ』(ETA)</p> <p>しまむら ゆうこ/文 たるいし まこ/絵 福音館書店</p> <p>おもちゃのショーウィンドーにかざられためいぐるみのトラのところへ「りっぱなトラになりたい」というこねこがやってきました。</p> |
| <p>『トラのじゅうたんになりたかったトラ』(EO)</p> <p>ジェラルド ローズ/文・絵 ふしみ みさを/訳 岩波書店</p> <p>インドのジャングルにすんでいたやせこけたトラは、きゆうでんのひろまでおいしそうにしよくじをしているおうさまとかぞくがうらやましくてたまりません。</p> | <p>『おおきなトラとシカのはんぶんくん』(EF)</p> <p>バーニス フランケル/さく レナード ワイスガード/え こみや ゆう/やく 好学社</p> <p>もりにすむ3とうのシカのきょうだいのすえっこは、にいさんたちのはんぶんくらいのおおきさで、「はんぶんくん」とよばれていました。</p> |
| <p>『とらとほしがき』(Eバ)</p> <p>バク ジェヒョン/再話・絵 おおたけ きよみ/訳 光村教育図書</p> <p>トラがうしをねらって、あるいえにしのびこみました。そこではおかあさんがいないこともをあやしていました。かんこくのゆかいなむかしばなし。</p> | <p>『おちやのじかんにきたとら』(EK)</p> <p>ジュディス カー/文と絵 晴海 耕平/訳 童話館</p> <p>ソフィーとおかあさんがおちやししようとしたとき、げんかんのベルがなりました。ドアをあけるとおおきなトラがいました。</p> |

★でんしゃ

| | |
|---|--|
| <p>『でんしゃにのって』(Eト)</p> <p>とよた かずひこ/著 アリス館</p> <p>うららちゃんひとり、おばあちゃんのところへ、でんしゃにのってでかけます。「つぎはわにだーわにだー」のってきたのはわにです。</p> | <p>『せんろはつづく』(Eス)</p> <p>竹下 文子/文 鈴木 まもる/絵 金の星社</p> <p>せんろとせんろをつなぐとながくなる。もつもつとつなぐと、もつもつとながくなる。やまがあったらどうする？かわがあったらどうする？</p> |
| <p>『おおきなでんしゃ』(TEザ)</p> <p>座二郎/作 あかね書房</p> <p>おとうさんのおべんとうをとどけよう！ルイくんがえきででんしゃをまわっていると、おおきなおおきなでんしゃがやってきました。</p> | <p>『たぬきがのつたらへんしんでんしゃ』(TEタ)</p> <p>田中 友佳子/作・絵 徳間書店</p> <p>まじめさんは、まじめなでんしゃ。きょう、はじめて「びっくりせん」をはしります。のりこんできたのは、たぬきたち。</p> |
| <p>『ないしょでんしゃ』(Eカ)</p> <p>薫くみこ/作 かとう ようこ/絵 ひさかたチャイルド</p> <p>もりのてつどうは、ゆきがとけるまでおやすみです。えきのおおそうじをして、えきちょうさんがざせきでねむっていると、でんしゃがゆっくりうごきました。</p> | <p>『ながーいでんしゃ』(Eフ)</p> <p>古内 ヨシ/絵・文 至光社</p> <p>すごーくながくて、どこにでもいけるでんしゃをしていますか？まちじゅうのひとがのれる、ながーいでんしゃがまちへやってきました。</p> |
| <p>『でんしゃがまいます』(Eア)</p> <p>秋山 とも子/さく 福音館書店</p> <p>あさ7じすぎ、がっこうやかいしゃなどにでかけるひとたちで、ホームはいっぱい。とうきょうのしんじゆくえきの、ホームのいちにちをえがいたえほん。</p> | <p>『チリンでんしゃ』(Eム)</p> <p>大原 悦子/文 村田 エミコ/絵 福音館書店</p> <p>きょうは、おばあちゃんとでんしゃでどうぶつえんにいく。でんしゃがトンネルにはいったとき、すずをならしてあらわれたのはキリンのしゃしゅうさん。</p> |

★バス

| | |
|---|---|
| <p>『トコトコバス』(Eタ)</p> <p>高橋 和枝/作 講談社</p> <p>リーンリーンのバスでいではむしがいっぴき。ぴょんぴょんのバスでいでは、うさぎがにひき。さいたさいたのバスでいでは…。</p> | <p>『バスたろうはじめてのうんてん』(Eノ)</p> <p>のぶみ/さく 講談社</p> <p>かんとろうは、おとうさんにかさをとどけようとはじめてひとりでバスにのります。ところが、そのバスはちよつとへんで…。</p> |
| <p>『もぐらバス』(Eウ)</p> <p>佐藤 雅彦/原案 うちのますみ/文・絵 偕成社</p> <p>じめんのしたにのびるちいさなトンネルは、もぐらのけんせつがいしゃがほったもの。そのトンネルをいったりきたりしているのが、もぐらバスです。</p> | <p>『バスがきました』(Eタ)</p> <p>谷川 晃一/作・絵 毎日新聞社</p> <p>あさです。むらからやまへ、やまからまちへ、バスがはしります。いろんなバスでいて、たくさんのおとがおりていきます。みんな、どこにいくのかな…？</p> |
| <p>『ばすていよいしょ』(Eニ)</p> <p>重松 彌佐/作 西村 繁男/絵 童心社</p> <p>おばあちゃんといっしょにバスにのってのはなびをみにいきたいしんごくんは、バスでいをおしたり、ひっぱったりしてうごかそうとします…。</p> | <p>『おつきみバス』(Eフ)</p> <p>藤本 ともひこ/作・絵 鈴木出版</p> <p>きょうはおつきみ。ところが、おつきまにおそなえしたおだんごが、うさぎにぬすまれてしまいました！バスくとねずみたちがおいかけていくと…。</p> |
| <p>『ばすくん』(Eナ)</p> <p>みゆきりか/さく なかや みわ/え 小学館</p> <p>ばすくんはろせんバス。もうながいことはたらいてきたのでくたびれています。あるひ、しんがたバスがどうにゆうされて…。</p> | <p>『わたしたちのてんごくバス』(TEグ)</p> <p>ボブ グレアム/さく こだまともこ/やく さ・え・ら書房</p> <p>ステラのうちのまえにすてられた、ふるいおんぼろバス。ゆきさきのところには、「てんごく」とかいたかみがはってありました。</p> |

さくいん

| あ | | | | | |
|------------------|-------|----|---------------------|-------|----|
| あさがお | | 13 | おかあさんありがとう | | 4 |
| あっごきぶりだ! | | 9 | おかあさんがおかあさんになった日 | | 17 |
| アニマルズ | | 13 | おかあさんになるってどんなこと | | 16 |
| アパートのひとたち | | 5 | おかあさんのおべんとう | | 16 |
| あひるのたまご | | 11 | おかあさんの顔 | | 16 |
| アフガニスタンのひみつの学校 | | 4 | おくりもの | | 7 |
| アマンダとくまの子 | | 19 | おこだでませんように | | 6 |
| あむ | | 2 | おさるちゃんのおしごと | | 3 |
| あるくくま | | 3 | おさるのジョージアイスクリームだいすき | | 11 |
| アレppoのキャットマン | | 1 | おじいちゃんちのたうえ | | 17 |
| いいからいいから [1] | | 10 | おじいちゃんとのやくそく | | 17 |
| イカリメーター | | 7 | おじいちゃんのごくらくごくらく | | 17 |
| 生きるお手伝い | | 7 | おじいちゃんたびじたく | | 17 |
| 1日10分でちずをおぼえる絵本 | | 13 | おじいちゃんの手帳 | | 8 |
| いちにちぶんぼうぐ | | 12 | おしっこちよっぴりもれたろう | | 10 |
| いっぴきぐらしのジュリアン | | 7 | おじやまなクマのおいだしかた | | 19 |
| いぬとくまいつもふたりは | | 19 | おせんべいゆれた | | 9 |
| いぬのおしりのだいじけん | | 10 | おたすけこびととおべんとう | | 4 |
| いぬのサビシー | | 2 | オタマジャクシつかまえた! | | 6 |
| いまのわたしにできること | | 2 | おちやのじかんにきたとら | | 19 |
| いらいらばいばい | | 7 | おつきさまこっちむいて | | 18 |
| うしはどこでも「モ〜!」 | | 8 | お月さまってどんなあじ? | | 18 |
| うちのおかあさん | | 16 | おつきさまってなあに? | | 18 |
| うちのおじいちゃん | | 17 | おつきさまのおさんぽ | | 18 |
| うちのねこ | | 1 | おつきさまはいちねんせい | | 18 |
| うどん | | 13 | お月さんのシャーベット | | 18 |
| うろおぼえ一家のおかいもの | | 10 | おつきさんのぼうし | | 18 |
| ええところ | | 7 | おつきみバス | | 20 |
| えがないえほん | | 12 | おとうさん!おとうさん! | | 16 |
| 江戸の妖怪一座 | | 14 | おとうさんおかえり | | 16 |
| えんそくねこねこ | | 1 | おとうさんのちず | | 16 |
| お〜しまい!...かな? | | 12 | おとうさんはウルトラマン | | 16 |
| おおかみだあ! | | 12 | おとうさんはしょうぼうし | | 16 |
| 大きな大きな船 | | 16 | おとうさんぼくおさかなつたよ! | | 16 |
| おおきなかべがあったとさ | | 1 | おとうふ2ちょう | | 9 |
| おおきなでんしゃ | | 20 | おにたのぼうし | | 6 |
| おおきなトラとシカのはんぶんくん | | 19 | おにのおふるや | | 15 |
| おおゆき | | 6 | オニのきもだめし | | 15 |
| おかあさん、げんきですか。 | | 16 | 鬼の首引き | | 15 |
| おかあさん、すごい! | | 16 | オニのサラリーマン | | 15 |
| | | | オニのふるめぐり | | 8 |

| | | |
|--------------------|-------|----|
| おにのふんどしちよいとぬえるかい | | 15 |
| おによりつよいおよめさん | | 15 |
| おばあちゃんからライオンをかくすには | | 17 |
| おばあちゃんすごい! | | 17 |
| おばあちゃんとおんなじ | | 17 |
| おばあちゃんのコもりうた | | 17 |
| おばけ、がっこうへいく | | 14 |
| おばけおばけおばけ! | | 14 |
| おばけがふくをなくしたら | | 14 |
| おばけのばむけ | | 14 |
| おばけのパンこじょう | | 14 |
| おばけのペロペロ | | 14 |
| お化けの猛暑日 | | 14 |
| おめでとうかいぎ | | 4 |
| おやすみ、ぼく | | 4 |
| おれ、よびだしになる | | 4 |

か

| | | |
|------------------------|-------|----|
| 怪物園 | | 15 |
| かぜをひいたおつきさま | | 18 |
| かたあしだちょうのエルフ | | 6 |
| がちょうときつね | | 9 |
| かつおどりとおほうどり | | 9 |
| 学校が大好きアクバルくん | | 4 |
| かべのむこうになにがある? | | 7 |
| がまんのケーキ | | 9 |
| かめくんのさんぽ | | 3 |
| カラーモンスターがっこうへいく | | 15 |
| かわ | | 13 |
| がんばれ、おじいちゃん | | 17 |
| キオスク | | 4 |
| きたかぜとたいよう | | 8 |
| きつとあえる | | 6 |
| キツネのおとうさんがニッコリわらっていました | | 16 |
| きょうからほいくえん | | 4 |
| きょうはそらにまるいつき | | 18 |
| きょうもうれしい | | 6 |
| きょうりゅうのおおきさつとどれくらい? | | 13 |
| きよだいなガチャガチャ | | 15 |
| 串かつやよしこさん | | 10 |
| くつやさんとおばけ | | 8 |
| くまくまパン | | 19 |
| くまさんははずかしがりや | | 19 |
| くまときつね | | 19 |

| | | |
|---------------|-------|----|
| クマと少年 | | 3 |
| くまのコールテンくん | | 19 |
| くまのこミンのおうち | | 19 |
| グリドングリドン | | 10 |
| くろねこのほんやさん | | 1 |
| けっこんしき | | 10 |
| ケンカオニ | | 15 |
| けんかのきもち | | 6 |
| ここからだしてくれ〜! | | 12 |
| ここにいる | | 6 |
| こねこのビスケット | | 1 |
| このねこ、うちのねこ! | | 2 |
| ごめんなさい! | | 6 |
| ゴリラさんだめです | | 3 |
| コレットちゃんはおかあさん | | 17 |
| ころわんのおるすばん | | 11 |

さ

| | | |
|-------------------|-------|----|
| さくらもちのさくらこさん | | 6 |
| さるじぞう | | 3 |
| さるのせんせいとへびのかんごふさん | | 8 |
| さわってごらん! よるの星 | | 12 |
| 3びきのくま | | 19 |
| しげちゃんのはつこい | | 7 |
| じごくにアイス | | 15 |
| 七福おばけ団 | | 14 |
| しっほしっほだーれ? | | 3 |
| しっほのはたらき | | 13 |
| 10びきのおばけのたんじょうび | | 14 |
| 10びきのかえる | | 11 |
| 字のないはがき | | 5 |
| ジャッキーのゆめ | | 11 |
| 11びきのねことぶた | | 11 |
| 14ひきのコもりうた | | 11 |
| しょうがっこうがだいすき | | 4 |
| シラユキさんとあみあみモンスター | | 15 |
| シリアルとパットともだちになろう | | 7 |
| しろ | | 2 |
| しろくまのパンツ | | 12 |
| 新幹線のたび | | 13 |
| すずおばあさんのハーモニカ | | 17 |
| スパーキーとスパイク | | 2 |
| スリー | | 2 |
| せいめいのれきし | | 13 |

| | | | | | |
|----------------------|-------|----|----------------------|-------|----|
| ぜったいあけちゃダメッ！ | | 12 | ともだち | | 8 |
| ぜったいいぬをかうからね | | 2 | ともだちタワー | | 12 |
| ぜったいにおしちゃダメ？ | | 12 | とらさんおねがいおきないで | | 19 |
| せとうちたいこさんふじさんのぼりタイ | | 11 | とらとほしがき | | 19 |
| せんろはつづく | | 20 | トラのじゅうたんになりたかったトラ | | 19 |
| ぞうのヘンリエッタさん | | 8 | とりあえずごめんなさい | | 4 |
| 空とぶ馬と七人のきょうだい | | 5 | とりになったきょうりゅうのはなし | | 13 |
| そらのたび | | 11 | とんでいく | | 3 |
| そらの100かいだてのいえ | | 12 | な | | |
| そらはあおくて | | 7 | ないしょでんしゃ | | 20 |
| そらめくんのぼくのいちにち | | 11 | ながーいでんしゃ | | 20 |
| た | | | ながいよるのおつきさま | | 18 |
| たいくつなトラ | | 19 | なきむしおにのオニタン | | 15 |
| たいやきのちから | | 7 | なきむしおばけ | | 14 |
| たすひくねこ | | 1 | なにはこんでるの？ | | 5 |
| たぬきがのつたらへんしんでんしゃ | | 20 | なまえのないねこ | | 2 |
| たぬきのおもち | | 3 | なんだかたのしそう | | 10 |
| たのしいウジラのかいかた | | 13 | なんでもない | | 9 |
| だれのパンツ？ | | 15 | なんでもモッテルさん | | 6 |
| だんごたべたいおつきさま | | 18 | にくのくに | | 10 |
| ちいさなひこうきのたび | | 5 | にんじやいぬタロー | | 2 |
| ちくわのわーさん | | 8 | ねえねえパンダちゃん | | 3 |
| チャーリー、おじいちゃんにあう | | 17 | ねがいごと | | 1 |
| ちやのまのおざぶとん | | 9 | ねこおどる | | 1 |
| チリンでんしゃ | | 20 | ねこのオーランドーよるのおでかけ | | 1 |
| つぎはぎおばあさん きょうもおおいそがし | | 17 | ねこのつけしっぽ | | 2 |
| てぶくろ | | 8 | ねこはまいにちいそがしい | | 6 |
| でんごんでーす | | 9 | ねこはるすばん | | 1 |
| でんしゃがまいります | | 20 | ねずみくんのうんどうかい | | 3 |
| でんしゃにのって | | 20 | ねずみくんのチョッキ | | 8 |
| でんしゃにのるよひとりでのるよ | | 5 | ねずみくんのプレゼント | | 11 |
| どうぞのいす | | 6 | のびるじどうしゃ | | 5 |
| とうちゃんなんかべーだ！ | | 16 | ノラネコぐんだん おばけのやま | | 14 |
| どうなってるの？ どうぶつの歯 | | 13 | のりものいっぱい！ どこにいくの？ | | 5 |
| どうぶつたいじゅうそくてい | | 3 | のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト | | 13 |
| どうぶつパンやさん | | 5 | は | | |
| トカゲのともだち | | 3 | 歯いしゃのチュー先生 | | 9 |
| ときそば | | 10 | はかせのふしぎなプール | | 10 |
| どきどきオムライス | | 10 | ばけねこ | | 1 |
| トコトコバス | | 20 | はじめてのほしぞらえほん | | 13 |
| としよかんのきょうりゅう | | 5 | バスがきました | | 20 |
| としよかんライオン | | 7 | はずかしがりやのおつきさん | | 18 |
| トトのかんばい | | 4 | ばすくん | | 20 |

| | | | | | |
|-------------------|-------|----|---------------------|-------|----|
| バスたろうはじめてのうんてん | | 20 | まゆとおに | | 15 |
| ばすていよいよ | | 20 | ミーコとボクちゃん | | 1 |
| はたけのにやーこ | | 2 | 水がすきじゃなかったアヒル | | 3 |
| 花さき山 | | 7 | ミミとおとうさんのハッピー・バースデー | | 16 |
| 花のすきなおおかみ | | 8 | ムカムカドッカーン! | | 7 |
| パパ、お月さまとって! | | 18 | もうちよっともうちよっと | | 9 |
| バムとケロのにちようび | | 11 | もうどう犬ベエベ | | 2 |
| バレエのおけいこ | | 1 | もくもくやかん | | 9 |
| ばんつさん | | 12 | もぐらバス | | 20 |
| パンでんしゃ | | 5 | もしきみが月だったら | | 18 |
| パンドろぼう | | 9 | もりのかばんやさん | | 5 |
| ビーナスとセリーナ | | 5 | や | | |
| ピーマンのにくづめだったものはなし | | 10 | やきいもやゴンラ | | 4 |
| ヒゲタさん | | 1 | ヤクーバとライオン 1 | | 8 |
| ひとはなくもの | | 8 | やねうらべやのおばけ | | 14 |
| 100万回生きたねこ | | 7 | ゆうかんな3びきとこわいこわいかいぶつ | | 15 |
| ヒョウのハチ | | 3 | ゆうたのおじいちゃん | | 17 |
| ふしぎなふしぎなまほうの木 | | 12 | ゆきのひにあえたら | | 1 |
| ぶたのたね | | 11 | ようかいえんのなつまつり | | 14 |
| ぶつくさモンクターレさん | | 10 | 妖怪バス旅行 | | 14 |
| ふって!ふって!パニー | | 12 | ようかいりょうりばんづけ | | 14 |
| ぶららんこ | | 12 | ら | | |
| フンころがさず | | 9 | らいおんレストラン | | 10 |
| へなちよこ | | 7 | 楽園のむこうがわ | | 5 |
| ペロのおしごと | | 2 | リクはよわくない | | 2 |
| へんしん!かおはめえほん おしごと | | 9 | リサとガスパールにほんへいく | | 11 |
| へんしんたんてい | | 8 | りんごかもしれない | | 12 |
| へんしんテスト | | 11 | るすばんかいぎ | | 5 |
| ぼく、おつきさまがほしいんだ | | 18 | ルラルさんのだいきしごと | | 4 |
| ぼく、お月さまとはなしたよ | | 18 | ルラルさんのぼうえんきょう | | 11 |
| ぼく、ドジオ。 | | 6 | わ | | |
| ぼくとがっこう | | 4 | わたしたちのてんごくバス | | 20 |
| ぼくのうた、なんだっけ? | | 10 | わたしのせいじゃない | | 8 |
| ぼくは犬や | | 2 | | | |
| ぼくはうちゅうじん | | 13 | | | |
| ぼくはなきました | | 6 | | | |
| ぼくはフクロウ | | 3 | | | |
| ぼくはほんやさんになる | | 4 | | | |
| ほんのにわ | | 5 | | | |
| ま | | | | | |
| まぐらのせんじん そのあなたの巻 | | 9 | | | |
| まっかつかトマト | | 13 | | | |
| まねっこまくん | | 19 | | | |



2022年8月
御嵩町図書館